

2018年（平成30年） 投資信託に関するアンケート調査 調査結果サマリー

Point

- 投資信託の現在保有者は14.7%。年代や世帯年収が上がるにつれて増加する傾向。(P5)
- 投資信託現在保有者の内、積立投資の利用状況は34.9%。年代別では20代が多く、65.2%。(P22)
- 投資信託の興味・関心・購入のきっかけは、年代が若くなるにつれ「少額投資非課税制度が始まったので」「確定拠出年金で投資信託を選択して興味を持った、良かったので」が高くなる傾向。(P37)



2019年（平成31年）3月
一般社団法人 投資信託協会

■ 調査計画の概要	-----	2
1. 本調査の回答者プロフィール	-----	3
2. 投資信託の保有状況	-----	5
3. 投資信託の購入・保有に関する意識	-----	9
4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況	-----	19
5. 毎月分配型投資信託についての意識	-----	24
6. 投資信託の非購入理由	-----	35
7. 投資信託購入検討のきっかけ	-----	36
8. 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ	-----	37
9. 投資信託購入時参考情報	-----	38

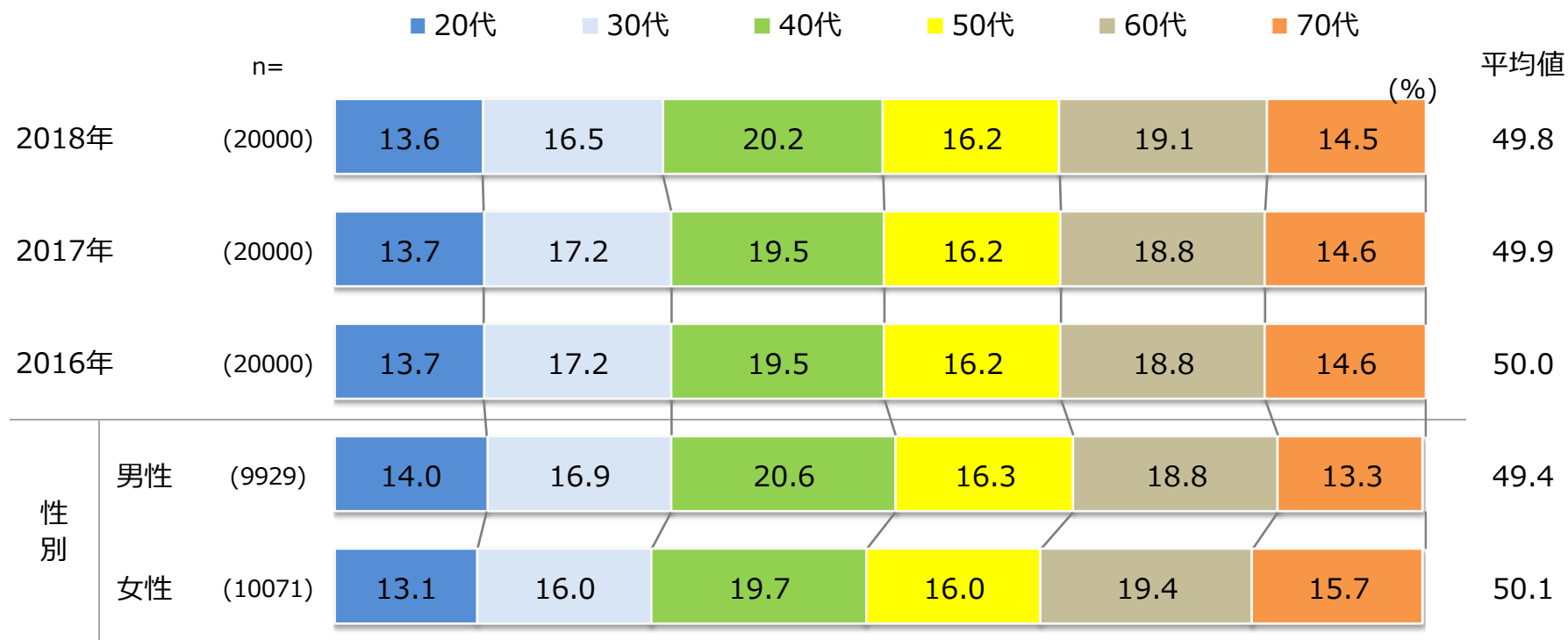
■調査計画の概要

調査の目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、投資信託の保有状況や特徴認知、満足度、積立投資の認知などを把握すると同時に、投資信託保有未経験層に対しては、非購入理由や購入検討のきっかけを確認することで、「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進するための課題を探り、今後の投資信託の利用拡大及び啓発普及活動に役立つ資料とすること。								
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：インテージネットモニター） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。								
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）								
調査対象	20～79歳の男女								
サンプル数	総計20,000サンプル * 性・年代・エリアで割付実施（割付は平成29年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。 * 職業条件による除外は実施していない。 <性・年代・エリアごとの回収数詳細>								
			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計
	男性	首都圏	436	536	654	480	481	362	2,949
		阪神圏	200	230	298	225	257	198	1,408
		その他地域	756	913	1,095	918	1,128	762	5,572
	男性計		1,392	1,679	2,047	1,623	1,866	1,322	9,929
	女性	首都圏	412	504	614	450	493	420	2,893
		阪神圏	198	234	303	233	279	240	1,487
		その他地域	710	878	1,072	933	1,180	918	5,691
	女性計		1,320	1,616	1,989	1,616	1,952	1,578	10,071
TOTAL		2,712	3,295	4,036	3,239	3,818	2,900	20,000	
※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。 【首都圏】 東京、神奈川、埼玉、千葉／計5,842サンプル 【阪神圏】 大阪、京都、兵庫、奈良／計2,895サンプル 【その他地域】 上記以外の都道府県／計11,263サンプル									
調査時期	2018年12月7日（金）～12月14日（金）								
調査主体	一般社団法人 投資信託協会								
調査実施機関	株式会社インテージ								

1. 本調査の回答者プロフィール

回答者の性別・年代

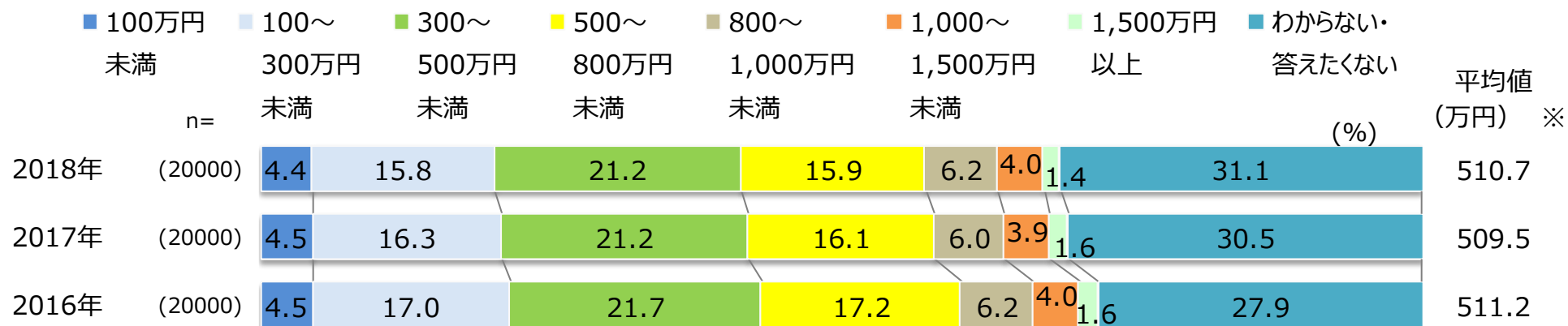
(Q28・29)



1. 本調査の回答者プロフィール

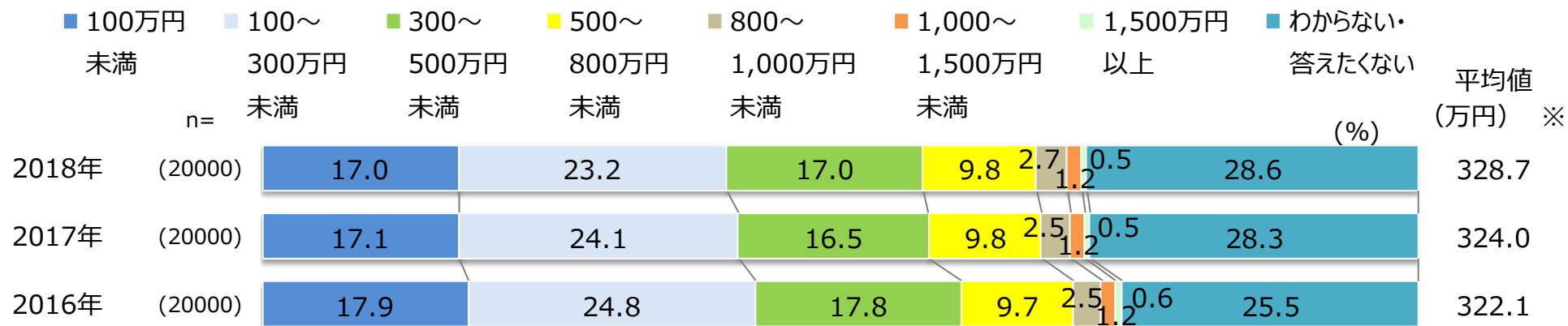
回答者の世帯年収

(Q31①)



回答者の個人年収

(Q31②)



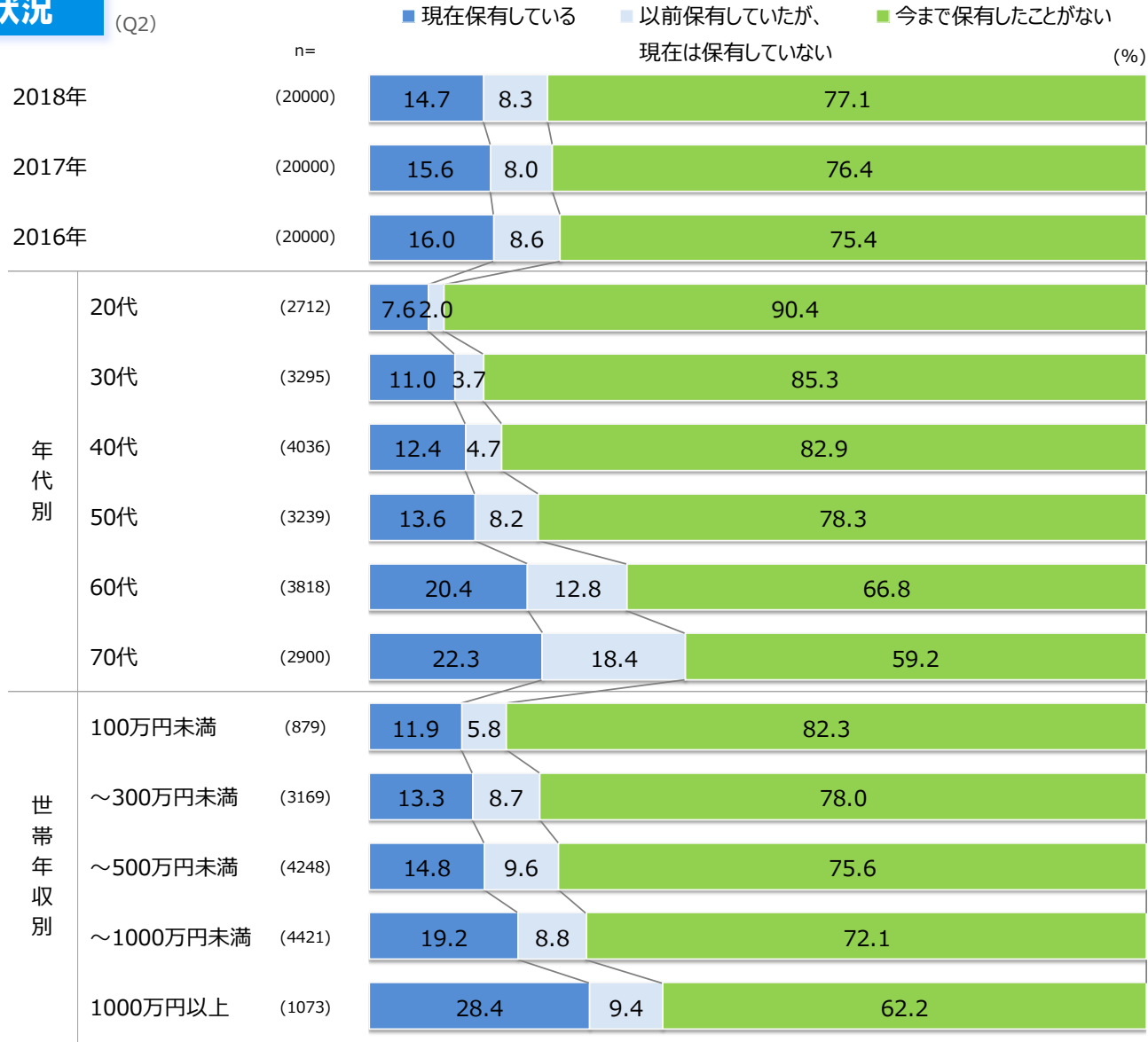
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円 / 800万円~1000万円未満：900万円 / 1000~1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

2. 投資信託の保有状況（1）

投資信託の保有状況

(Q2)



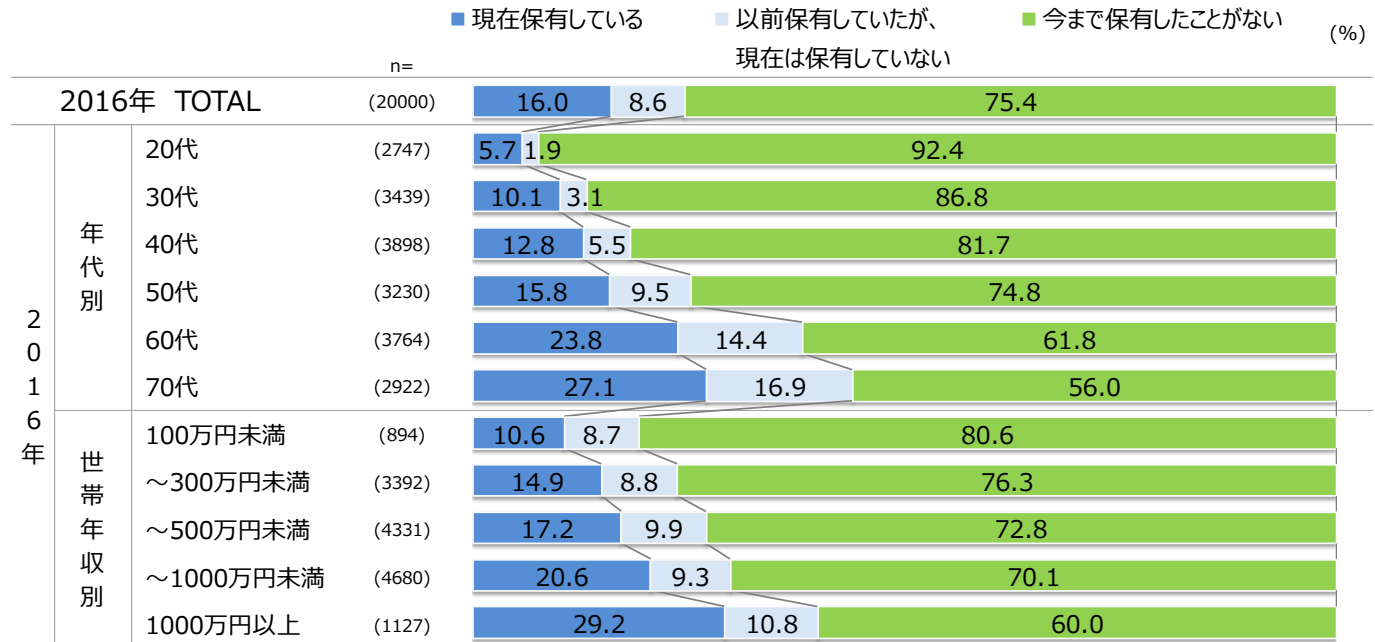
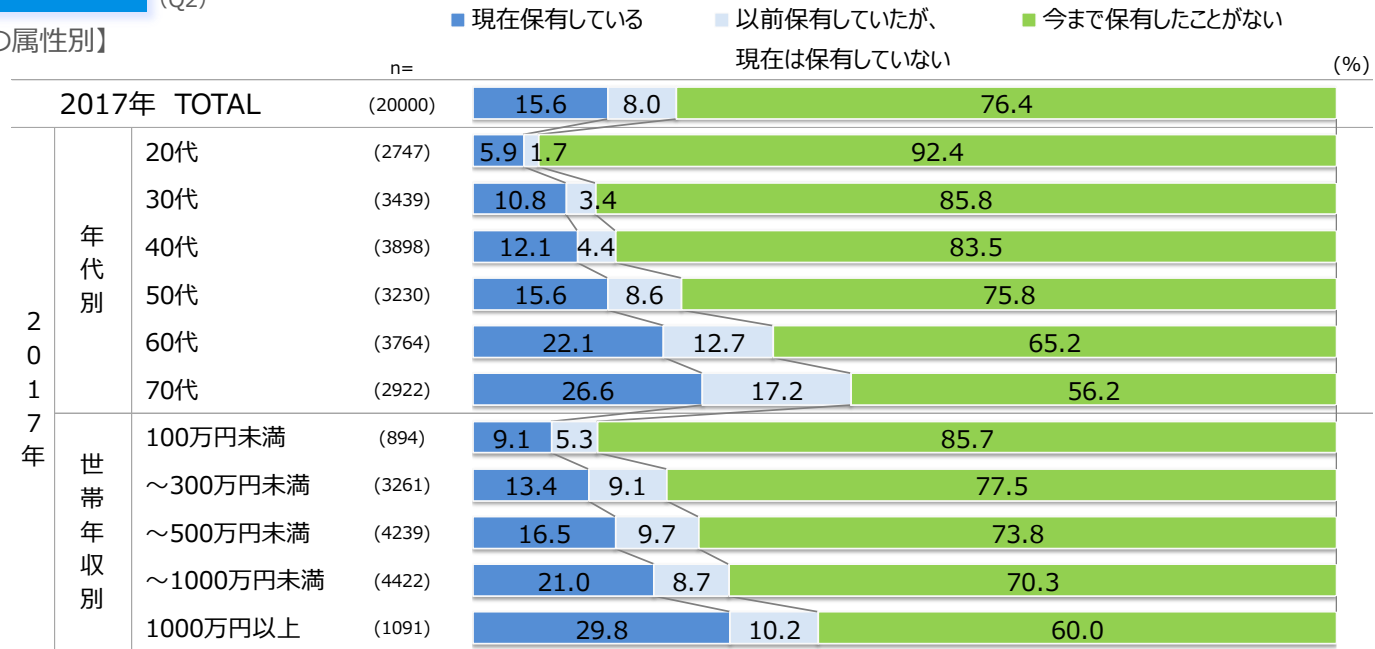
- 投信の保有状況は、“現在保有層”が14.7%と前回（15.6%）同水準となる。
- 年代や世帯年収が上がるにつれ、投資信託の“現在保有層”、“保有経験層”ともに増加する。

2. 投資信託の保有状況（2）

投資信託の保有状況

(Q2)

【2017年、2016年の属性別】

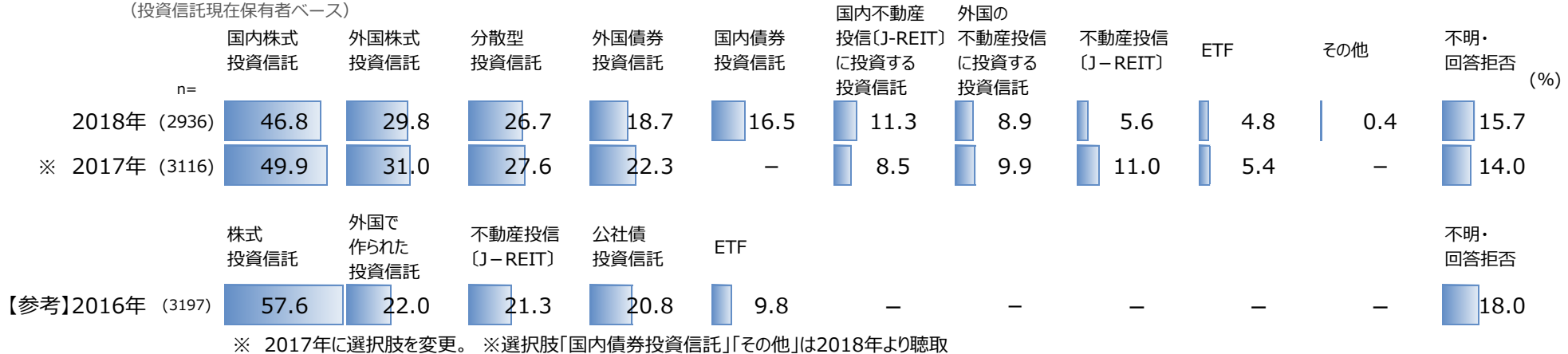


2. 投資信託の保有状況（3）

保有している投資信託の種類（重複回答）

(Q5)

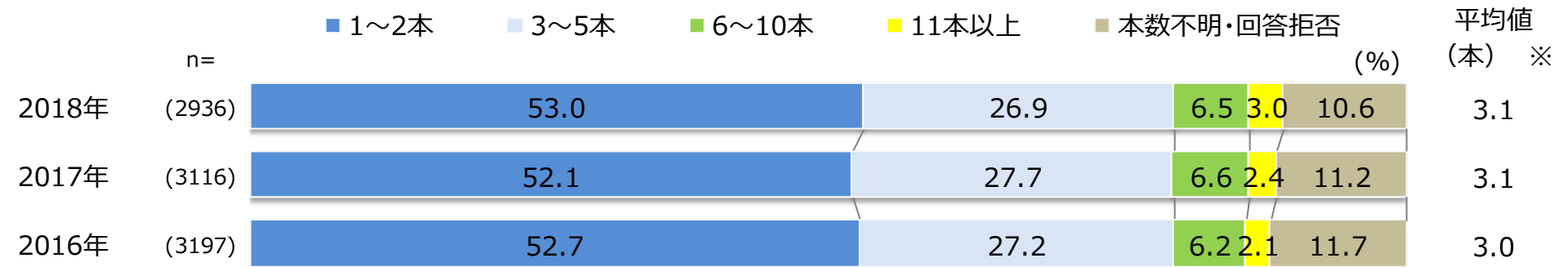
(投資信託現在保有者ベース)



現在保有している投資信託の本数

(Q3)

(投資信託現在保有者ベース)



※ 平均値は「本数不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は次の通り 1~2本：1.5本 / 3~5本：4本 / 6~10本：8本 / 11本以上：13本

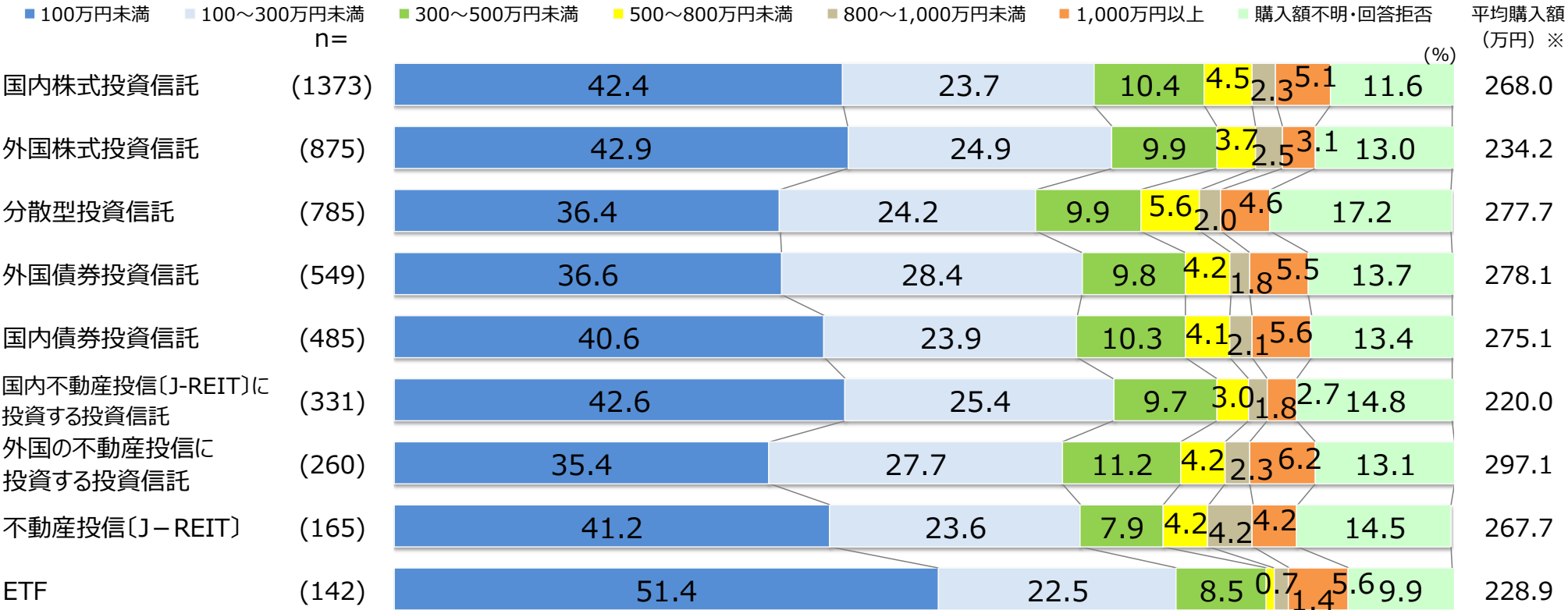
- 現在保有している投資信託の種類は、「国内株式投資信託」が46.8%で最多。次いで「外国株式投資信託」「分散型投資信託」「外国債券投資信託」が続く。
- 現在保有している投資信託の保有本数は、「1~2本」(53.0%)が半数以上を占め、平均本数は3.1本。前回と大きな差は見られない。

2. 投資信託の保有状況（4）

保有している投資信託の種類別購入額

(Q6)

(各投資信託現在保有者ベース)



※ 平均値は「購入額不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

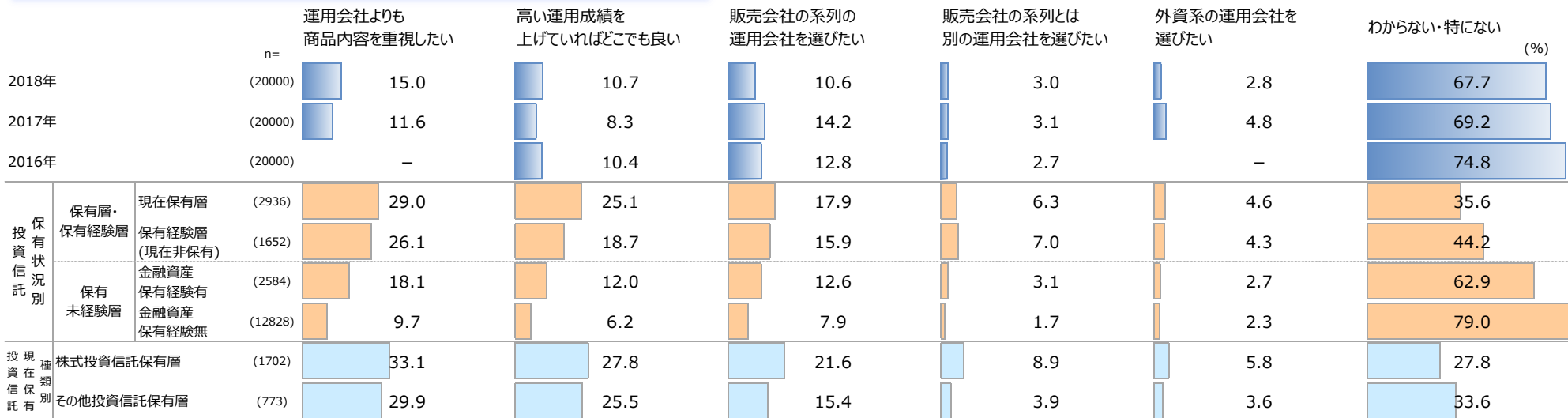
100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円 / 800～1000万円未満：900万円 / 1000万円以上：1500万円

- 種類別の平均購入額は「外国の不動産投信に投資する投資信託」が297.1万円で最も高い。次いで「外国債券投資信託」「分散型投資信託」「国内債券投資信託」が270万円台で上位。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（1）

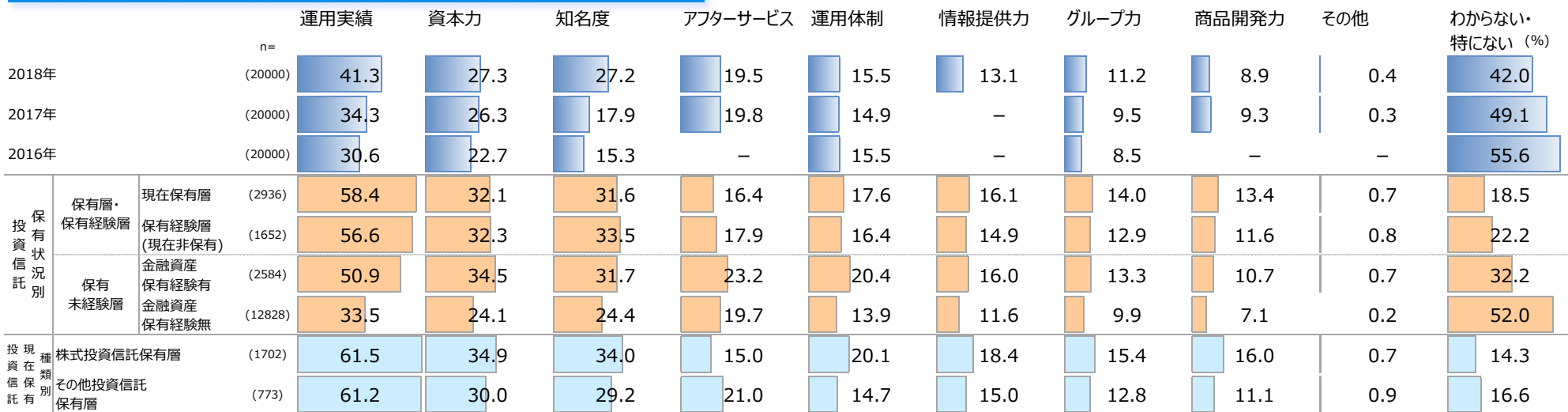
運用会社についての考え（重複回答）

(Q15) ※選択肢「運用会社よりも商品内容(投資信託)を重視したい」「外資系の運用会社に興味があるは2017年より聴取



投資信託購入の際の運用会社の重視点（重複回答）

(Q16) ※選択肢「情報提供力」は2018年より聴取
※選択肢「アフターサービス」「商品開発力」は2017年より聴取



- 投資信託の運用会社選びでは、「わからない・特にな」が67.7%と、前回同様に大半の人が選択基準を想起できない様子。「運用会社よりも商品内容を重視したい」が最も高い一方で「高い運用成績を上げていればどこでも」「販売会社の系列の運用会社を選びたい」も高い。
- 運用会社の重視点は、前回同様「運用実績」(41.3%)が最も高く、「資本力」(27.3%)が続く一方で、「わからない・特にな」(42.0%)も4割と高い。投資信託保有状況別では、現在保有層・保有経験層で「運用実績」を、保有未経験層で「アフターサービス」を重視する傾向。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（2）



投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q10)

		元本の保証はない	国内・海外の投資信託がある	価格変動と為替リスクがある	外国に投資する	証券会社以外でも購入できる	銀行・証券会社、銀行以外でも購入できる	購入できる	相対する関係にある	NISA・投資信託ができる	運用している	手数料が別	運用している	投資信託の会社が評価される	MRFではある	基準価額は協会や	見ることができ	投資信託は、別の	管理されている	この中で知らない
2018年		n=(20000)	49.0	34.1	34.1	32.3	30.0	24.3	22.1	18.2	9.7	8.7	8.7	7.5	36.8					
2017年		(20000)	46.2	32.6	32.5	31.4	28.0	23.3	21.2	16.9	9.5	8.7	9.0	5.9	39.8					
2016年		(20000)	46.4	32.2	32.7	31.1	27.9	23.4	20.9	16.0	10.0	9.5	9.3	6.2	39.9					
性別	男性	(9929)	51.5	35.3	36.1	32.4	34.4	25.7	26.6	20.9	12.0	10.2	9.8	9.5	34.9					
	女性	(10071)	46.6	32.8	32.1	32.2	25.7	23.0	17.7	15.6	7.5	7.1	7.5	5.5	38.7					
年代別	20代	(2712)	26.1	21.5	22.7	17.5	21.2	15.7	13.1	9.0	7.6	3.9	4.5	4.5	55.3					
	30代	(3295)	39.7	28.8	28.3	25.3	25.1	22.2	18.9	14.2	8.9	6.3	6.3	5.7	45.1					
	40代	(4036)	47.7	32.7	32.3	28.7	27.9	22.9	20.4	16.2	8.7	7.7	7.2	6.9	39.5					
	50代	(3239)	55.7	35.2	36.5	34.9	31.9	26.4	22.9	19.9	11.1	9.8	9.4	9.0	33.3					
	60代	(3818)	59.7	40.5	39.0	41.3	36.3	28.8	26.6	23.5	10.7	11.7	10.8	8.6	27.4					
	70代	(2900)	61.4	43.9	44.5	44.2	36.6	28.7	29.8	25.6	11.3	12.0	13.5	10.1	22.7					
世帯年収別	100万円未満	(879)	34.9	27.0	24.1	24.9	24.0	17.9	15.6	11.6	7.2	6.1	6.0	4.8	46.4					
	～300万円未満	(3169)	46.8	31.3	31.2	31.0	28.5	20.9	18.9	15.7	7.8	7.2	7.1	6.1	37.5					
	～500万円未満	(4248)	52.4	37.4	37.7	34.9	31.4	25.5	23.7	18.8	9.2	8.8	8.9	7.8	31.1					
	～1000万円未満	(4421)	58.6	41.4	41.8	39.2	37.0	31.8	28.9	24.2	13.7	11.1	11.6	10.7	27.0					
	1000万円以上	(1073)	67.2	50.2	49.3	48.0	47.9	38.0	39.6	33.7	21.2	18.6	18.3	18.3	20.8					
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	(2936)	79.7	67.7	63.4	60.8	54.9	54.2	51.1	47.5	26.7	26.0	26.7	22.0	5.9					
	保有経験層（現在非保有）	(1652)	75.4	56.2	56.2	53.0	47.8	37.7	40.4	37.7	20.1	20.8	19.9	16.7	8.7					
	保有層・未経験層	(2584)	60.4	36.1	39.5	39.4	34.6	28.9	27.2	20.6	10.1	8.0	7.7	7.0	24.8					
	未経験層	(12828)	36.3	23.1	23.4	21.6	21.1	14.9	12.1	8.6	4.4	3.3	3.3	3.1	49.9					
現在保有信託の種類別	株式投資信託保有層	(1702)	81.0	70.1	65.5	63.0	59.2	56.6	54.2	50.5	30.8	31.1	29.0	26.7	4.2					
	その他投資信託保有層	(773)	85.6	73.7	70.9	65.2	55.4	56.4	55.8	52.7	25.2	23.2	29.6	20.7	2.3					

- 投資信託の特徴認知は、全体的に前回から大きな変動はみられない。「元本保証がない」(49.0%)が最も高く、「国内と海外の投信がある」「価格変動と為替リスクがある」(各34.1%)、「証券会社以外でも購入できる」(32.3%)が上位にあがる。その一方で「知っているものはない」(36.8%)も高い。
- 年代別、世帯年収別では、共に上の階層になるほど、どの項目も認知率は増す傾向。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（3）



投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q10)

元本の保証はない
 国内外の投資信託がある
 ある国の投資信託と格変動がある
 外国の投資信託と格変動がある
 ものには替る
 リスクがある
 銀行など、外の
 証券会社、外
 金融機関で
 購入できる
 相対する関係にある
 NISAやDC
 購入できる
 投資信託は、
 運用会社がある
 運用手数料は別に
 販売手数料は別に
 かかる
 行信託の価値を
 MRFは投資信託
 基準価額は新聞や
 見ることできる
 投資信託は、分
 管理されてい
 信託銀行は、別
 この中で知っていない

		n=	49.0	34.1	34.1	32.3	30.0	24.3	22.1	18.2	9.7	8.7	8.7	7.5	36.8
2018年 TOTAL		(20000)													
20代	100万円未満	(224)	19.2	21.0	21.0	17.4	25.0	11.2	13.8	5.8	7.6	4.5	4.9	4.9	57.1
	~300万円未満	(445)	22.2	18.7	21.1	16.2	21.8	13.0	12.1	7.2	6.7	2.7	3.6	2.9	56.6
	~500万円未満	(635)	33.1	23.9	26.9	20.3	22.2	18.9	15.6	10.2	7.9	4.7	4.4	6.3	47.1
	~1000万円未満	(383)	38.9	35.5	36.0	25.6	29.0	24.5	20.6	16.7	13.3	6.3	8.6	9.1	38.1
	1000万円以上	(109)	39.4	35.8	32.1	29.4	37.6	25.7	22.0	15.6	12.8	10.1	10.1	7.3	37.6
30代	100万円未満	(142)	24.6	18.3	18.3	21.8	16.2	16.9	14.1	9.2	7.0	3.5	6.3	4.9	54.9
	~300万円未満	(348)	32.8	22.4	22.4	20.4	22.7	14.1	10.3	8.6	6.0	5.5	2.9	2.9	52.0
	~500万円未満	(775)	37.9	27.4	28.0	24.9	24.4	20.8	17.7	13.0	7.4	6.1	6.2	5.4	43.4
	~1000万円未満	(968)	55.1	40.0	39.4	35.2	34.3	33.4	28.1	23.1	13.9	8.9	9.9	9.1	30.2
	1000万円以上	(124)	71.8	59.7	48.4	49.2	52.4	46.0	42.7	33.9	25.8	19.4	16.9	18.5	16.9
40代	100万円未満	(130)	37.7	30.8	20.8	23.1	20.8	16.9	12.3	11.5	6.2	4.6	3.8	3.1	43.8
	~300万円未満	(464)	36.6	25.4	24.6	23.1	23.5	16.2	13.6	11.0	6.5	5.4	4.5	3.7	48.5
	~500万円未満	(674)	49.9	34.3	33.4	27.6	26.3	24.0	19.6	14.1	5.8	4.9	5.8	6.8	36.1
	~1000万円未満	(1211)	57.1	40.5	39.9	36.5	33.2	28.6	26.8	21.7	10.7	9.7	9.8	8.9	29.6
	1000万円以上	(245)	64.1	47.8	51.0	44.9	45.7	36.7	39.2	32.2	23.3	18.4	18.0	20.0	22.9

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（4）



投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q10)

元本の保証はない
国内外の投資信託がある
価格の変動がある
外国の投資信託がある
リスクが大きい
銀行など、外資の証券会社、外資の金融機関
購入できる
相対する関係にある
NISAやDC
購入できる
運用会社がある
運用信託は、
販売手数料は別に
かかる
投資信託の価値を
行う会社の評価を
MRFではある投資信託
基準となる協会の
見ることできる
投資信託は、分ける
管理される
この中で知っていない

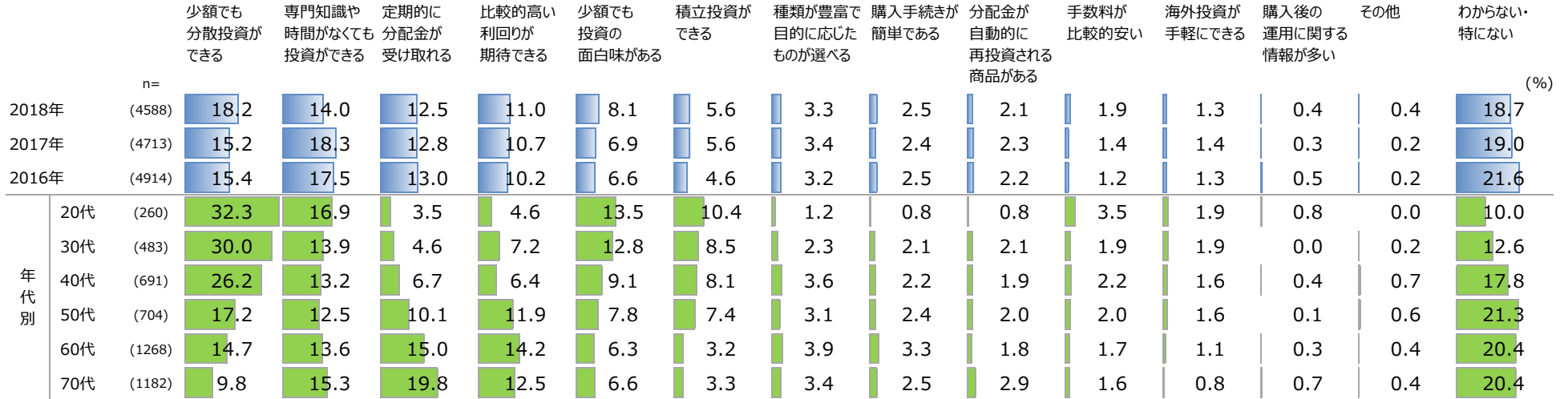
		n=	49.0	34.1	34.1	32.3	30.0	24.3	22.1	18.2	9.7	8.7	8.7	7.5	36.8
2018年 TOTAL		(20000)	49.0	34.1	34.1	32.3	30.0	24.3	22.1	18.2	9.7	8.7	8.7	7.5	36.8
50代	100万円未満	(118)	50.0	39.0	33.1	28.0	26.3	26.3	23.7	22.0	11.9	11.0	9.3	7.6	32.2
	～300万円未満	(317)	52.7	31.2	32.2	32.5	29.7	22.7	16.7	18.9	9.5	7.6	6.9	6.3	34.7
	～500万円未満	(485)	56.9	35.9	39.2	34.6	28.5	23.3	21.4	16.5	8.2	7.2	7.4	7.0	32.0
	～1000万円未満	(888)	60.1	37.5	40.7	40.2	37.7	30.2	27.4	21.8	14.0	11.7	10.4	12.2	26.2
	1000万円以上	(344)	73.0	51.5	49.7	48.8	51.2	38.4	43.3	36.6	21.8	18.3	20.3	20.3	19.2
60代	100万円未満	(167)	46.7	32.9	26.3	32.3	28.7	21.0	16.2	12.0	6.0	6.6	6.6	3.0	39.5
	～300万円未満	(786)	58.0	36.9	34.6	37.0	32.1	24.4	21.8	19.3	8.4	9.3	7.8	7.3	28.6
	～500万円未満	(856)	64.8	45.1	43.8	45.4	40.2	31.4	30.4	26.2	12.0	13.2	12.6	9.8	20.1
	～1000万円未満	(604)	69.9	49.3	47.0	51.0	47.4	37.6	34.3	29.6	15.9	16.1	15.6	11.6	18.2
	1000万円以上	(183)	71.0	53.6	53.0	54.1	47.0	41.5	39.9	38.3	17.5	21.3	19.1	17.5	16.4
70代	100万円未満	(98)	43.9	23.5	29.6	32.7	26.5	20.4	15.3	15.3	4.1	9.2	6.1	6.1	41.8
	～300万円未満	(809)	59.1	39.9	40.5	41.7	33.7	26.8	27.6	21.1	8.5	9.1	11.7	9.5	24.1
	～500万円未満	(823)	67.6	52.6	51.6	50.7	41.8	31.5	33.4	28.4	12.5	14.2	14.6	10.2	14.1
	～1000万円未満	(367)	71.1	51.0	54.8	51.5	46.3	40.9	40.9	39.2	19.3	17.2	21.3	17.2	15.0
	1000万円以上	(68)	75.0	50.0	60.3	66.2	50.0	36.8	44.1	41.2	26.5	26.5	22.1	20.6	13.2

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（5）

他の金融商品と比較して投資信託に特に魅力を感じる点

(Q13②)

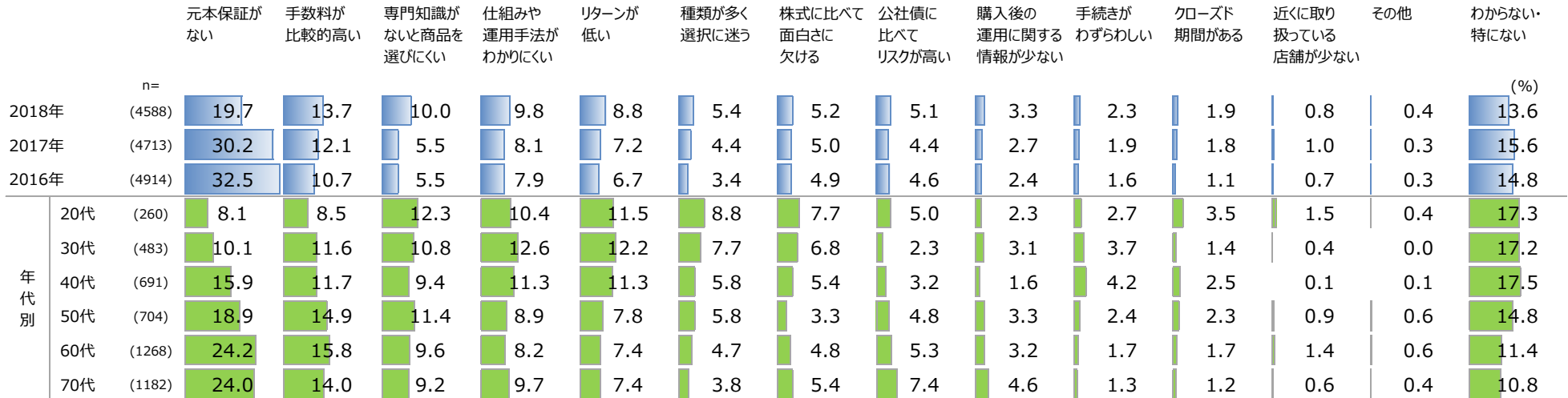
(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



他の金融商品と比較して投資信託に特に不満を感じる点

(Q14②)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



- 他の金融商品と比べ投信に特に魅力を感じる点は、「少額でも分散投資できる」(18.2%)、「専門知識や時間がなくても投資できる」(14.0%)、「定期的に分配金が受け取れる」(12.5%)が上位。また若年層ほど「少額でも分散投資できる」「少額でも面白味がある」「積立投資できる」が高く、高齢層ほど「定期的に分配金が受け取れる」「比較的高い利回りが期待できる」が高くなる。

- 特に不満な点ではこれまでと同様「元本保証がない」(19.7%)が最も高い。また高齢層ほど「元本保証がない」「手数料が比較的高い」が増す傾向。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（6）

投資信託の購入の際に重視した点（重複回答）

（Q7①）※選択肢「値下がりへの不安が少ない」「少額から投資できる」は2018年より聴取

		（投資信託現在保有者・保有経験者ベース）														
		値上がりへの期待	過去の運用実績	値下がりの不安が少ない	少額から投資できる	手数料や運用管理費用の水準	分配頻度	過去の分配金額	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	その他	特にない	
n=		（%）														
2018年	(4588)	32.3	29.1	24.0	21.5	13.2	10.9	10.7	9.1	7.8	7.8	5.8	4.8	1.9	12.1	
2017年	(4713)	36.5	25.7	-	-	11.1	11.4	11.0	9.7	9.0	7.4	5.3	5.2	1.3	13.3	
2016年	(4914)	37.9	23.9	-	-	9.6	11.2	11.9	10.6	8.4	6.7	6.1	4.6	1.2	14.0	
年代別	20代	(260)	28.1	38.1	25.4	26.5	20.8	7.7	2.7	7.3	8.1	8.8	6.5	7.7	0.4	11.5
	30代	(483)	32.1	30.0	21.9	26.3	18.4	7.0	7.7	6.6	7.7	7.7	3.7	5.2	1.2	12.0
	40代	(691)	31.4	28.2	23.4	23.2	16.1	7.8	6.4	6.7	6.9	8.5	5.2	5.1	1.6	13.5
	50代	(704)	33.0	29.8	23.6	19.9	12.5	9.4	9.2	5.1	8.9	8.1	4.1	5.1	2.3	12.8
	60代	(1268)	31.9	27.3	24.4	19.6	12.2	11.8	13.5	11.7	8.5	7.8	6.0	4.3	1.7	12.1
	70代	(1182)	33.8	28.8	24.9	20.5	9.2	14.9	14.2	11.7	7.0	7.1	7.7	4.1	2.5	11.0

投資信託の購入の際に今後重視したい点（重複回答）

（Q7②）※選択肢「値下がりへの不安が少ない」「少額から投資できる」は2018年より聴取

		（投資信託現在保有者・保有経験者ベース）														
		値下がりへの不安が少ない	値上がりへの期待	過去の運用実績	手数料や運用管理費用の水準	少額から投資できる	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	過去の分配金額	分配頻度	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	その他	特にない	
n=		（%）														
2018年	(4588)	32.5	29.5	23.8	16.8	16.4	10.7	10.2	8.8	8.3	8.0	6.1	5.8	1.3	15.7	
2017年	(4713)	-	35.8	24.2	14.2	-	11.3	9.7	8.7	8.5	7.3	5.7	5.6	0.4	16.2	
2016年	(4914)	-	35.9	22.1	12.4	-	11.7	9.0	9.1	8.3	6.4	5.8	5.3	1.0	17.0	
年代別	20代	(260)	29.6	31.2	31.2	21.9	23.1	11.9	12.3	6.9	7.7	8.8	7.7	10.8	0.4	8.5
	30代	(483)	26.9	34.4	29.0	24.4	20.9	9.3	8.7	6.4	6.8	10.8	4.1	7.7	0.2	11.0
	40代	(691)	32.1	33.9	23.6	19.8	17.4	7.7	9.4	7.2	5.2	9.3	6.4	6.8	0.9	13.6
	50代	(704)	32.2	29.0	25.4	19.2	17.2	9.4	13.4	6.4	7.2	7.2	5.5	4.7	0.7	15.5
	60代	(1268)	33.8	26.4	22.0	15.2	13.9	12.1	10.4	10.4	7.9	7.3	6.3	4.9	1.7	17.7
	70代	(1182)	34.3	28.3	21.2	11.2	14.6	12.0	8.7	11.0	11.8	7.3	6.3	4.9	2.1	18.4

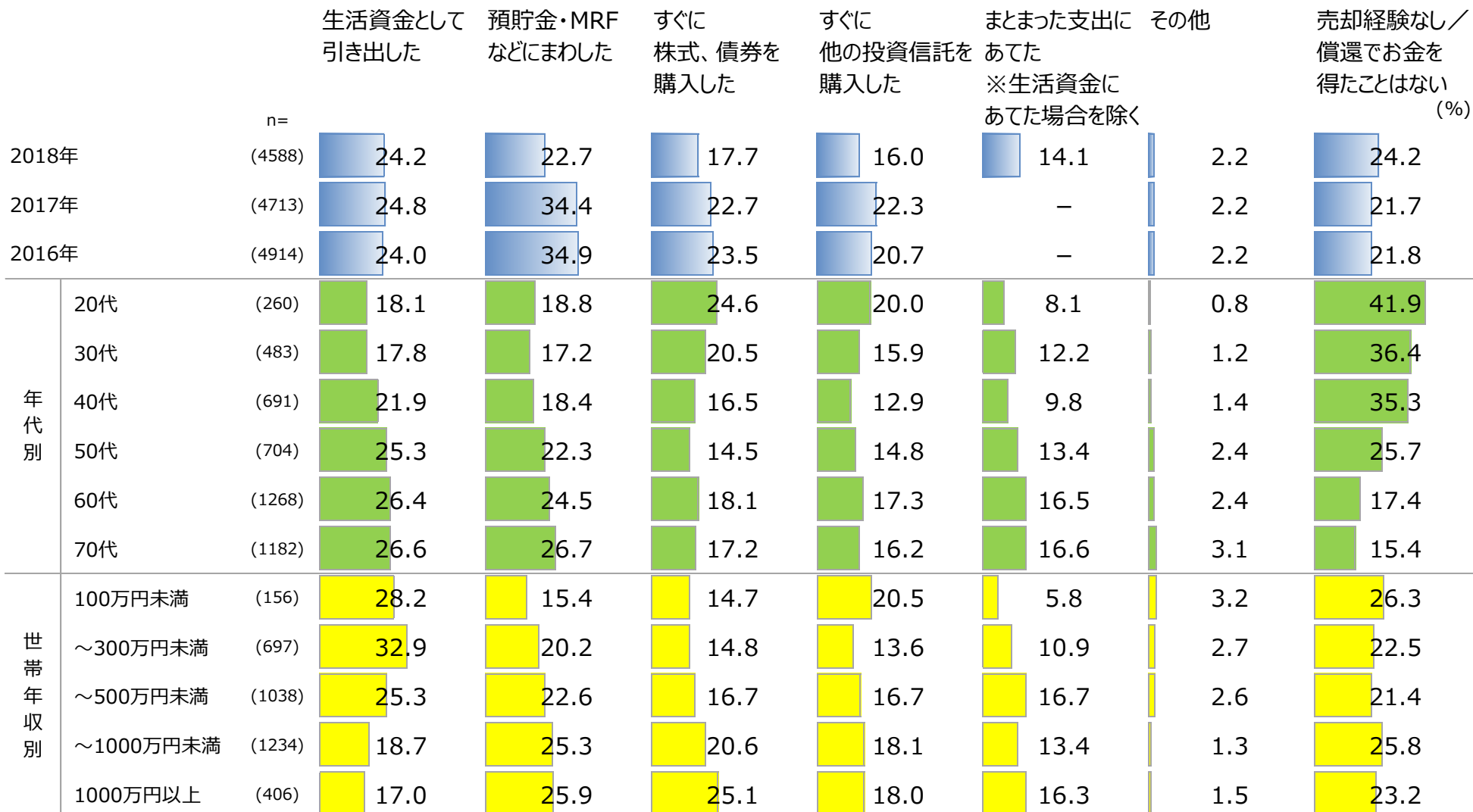
- 投資信託の購入の際に重視した点と今後重視したい点については、購入の際は「値上がりへの期待」「過去の運用実績」「値下がりの不安が少ない」が上位となる。今後重視したい点では「値下がりの不安が少ない」が最も高く、前回同様「値上がりへの期待」「過去の運用実績」が上位にあがる。
- 購入の際の重視点を年代別でみると、高齢層ほど「分配頻度」「過去の分配金額」が高く、若年層ほど「過去の運用実績」「少額から投資できる」「手数料などの水準」が高い。（「過去の運用実績」「少額から投資できる」「手数料などの水準」は今後重視したい点でも若年層ほど高くなる。）

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（7）

投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

（Q12）※選択肢「まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く」（は2018年より聴取）

（投資信託現在保有者・保有経験者ベース）



- 投資信託の償還・売却資金は「生活資金」(24.2%)に回されることが最も多く、「預貯金・MRF」(22.7%)がそれに続き、「株式・債券の購入」(17.7%)、「他の投資信託の購入」(16.0%)、「まとまった支出にあてた」(14.1%)に使われることよりも多い。
- 年代別では、高齢層ほど「生活資金」「預貯金・MRF」「まとまった支出」に回されることが多くなる様子。
- 世帯年収別で見ると、年収が高い層ほど「預貯金・MRF」「株式・債券の購入」「まとまった支出」が多くなる。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（8）

投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q12)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

生活資金として引き出した 預貯金・MRFなどにまわした すぐに株式、債券を購入した すぐに他の投資信託を購入した まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く その他 売却経験なし／償還でお金を得たことはない (%)

n=

(4588)

年代	資産規模	n	生活資金として引き出した	預貯金・MRFなどにまわした	すぐに株式、債券を購入した	すぐに他の投資信託を購入した	まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く	その他	売却経験なし／償還でお金を得たことはない (%)
2018年 TOTAL		(4588)	24.2	22.7	17.7	16.0	14.1	2.2	24.2
20代	100万円未満	(16)	18.8	12.5	18.8	43.8	0.0	0.0	37.5
	～300万円未満	(33)	18.2	9.1	21.2	12.1	3.0	3.0	60.6
	～500万円未満	(83)	19.3	16.9	20.5	21.7	7.2	1.2	37.3
	～1000万円未満	(71)	15.5	22.5	26.8	12.7	11.3	0.0	39.4
	1000万円以上	(20)	5.0	25.0	25.0	20.0	5.0	0.0	40.0
30代	100万円未満	(16)	12.5	6.3	25.0	12.5	0.0	6.3	37.5
	～300万円未満	(32)	25.0	9.4	12.5	18.8	6.3	0.0	46.9
	～500万円未満	(107)	22.4	16.8	17.8	8.4	12.1	0.9	37.4
	～1000万円未満	(218)	17.0	17.9	23.9	23.9	15.6	0.9	31.2
	1000万円以上	(44)	11.4	29.5	25.0	6.8	9.1	0.0	36.4
40代	100万円未満	(22)	36.4	9.1	9.1	13.6	4.5	4.5	36.4
	～300万円未満	(52)	34.6	15.4	17.3	9.6	9.6	1.9	28.8
	～500万円未満	(100)	23.0	11.0	14.0	14.0	11.0	4.0	37.0
	～1000万円未満	(271)	19.9	20.3	18.1	15.5	8.9	0.4	35.1
	1000万円以上	(82)	4.9	26.8	28.0	17.1	12.2	1.2	29.3

3. 投資信託の購入・保有に関する意識 (9)

投資信託の償還・売却で得た資金の流出先 (重複回答)

(Q12)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

生活資金として引き出した 預貯金・MRFなどにまわした すぐに株式、債券を購入した すぐに他の投資信託を購入した まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く その他 売却経験なし／償還でお金を得たことはない (%)

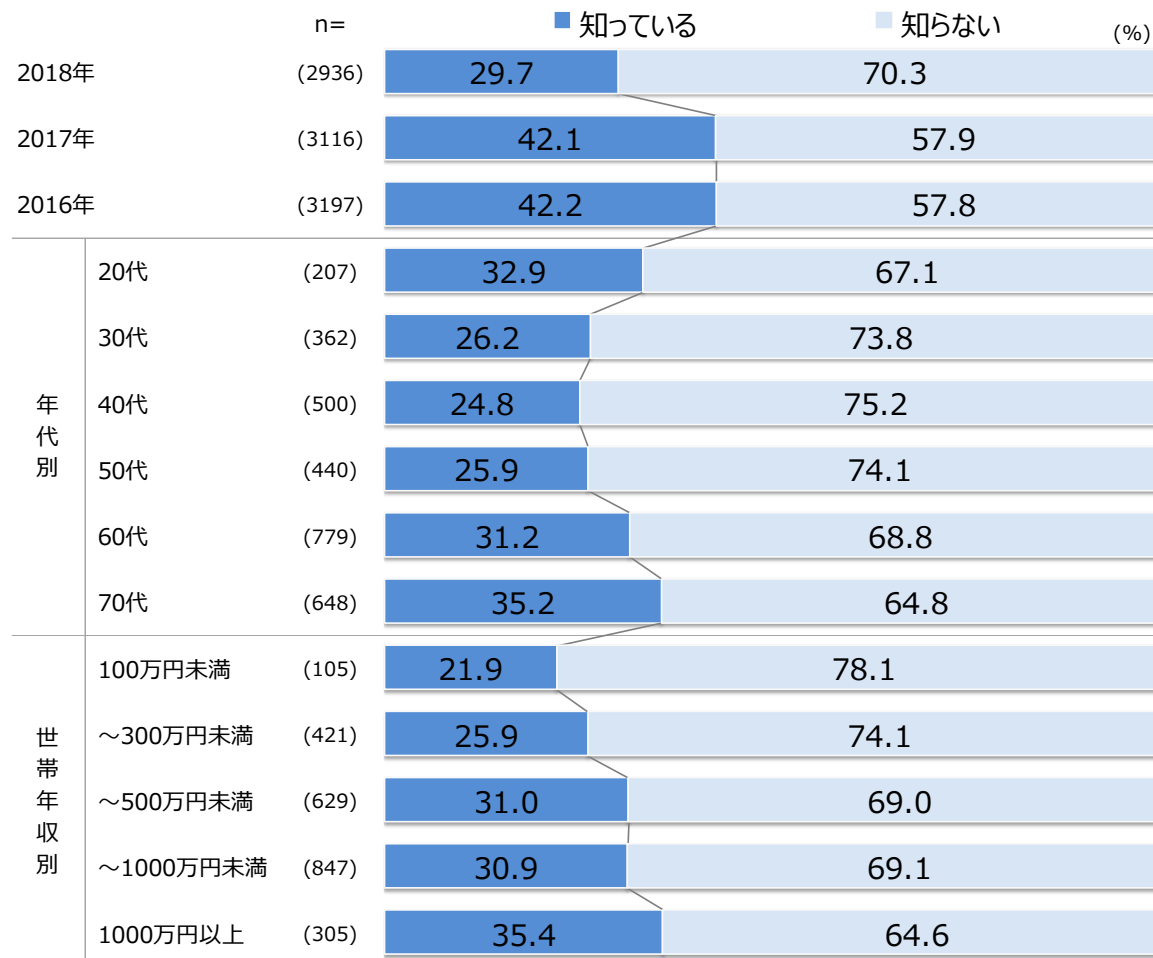
2018年 TOTAL		n=	生活資金として引き出した	預貯金・MRFなどにまわした	すぐに株式、債券を購入した	すぐに他の投資信託を購入した	まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く	その他	売却経験なし／償還でお金を得たことはない (%)	
TOTAL		(4588)	24.2	22.7	17.7	16.0	14.1	2.2	24.2	
年代×世帯年収別	50代	100万円未満	(29)	41.4	17.2	20.7	17.2	0.0	3.4	20.7
		~300万円未満	(56)	30.4	26.8	14.3	17.9	7.1	1.8	28.6
		~500万円未満	(84)	38.1	17.9	11.9	13.1	13.1	2.4	23.8
		~1000万円未満	(220)	18.6	25.0	11.8	15.0	13.6	3.2	28.6
		1000万円以上	(135)	23.7	23.0	20.7	17.0	18.5	2.2	21.5
	60代	100万円未満	(46)	23.9	15.2	10.9	23.9	15.2	4.3	19.6
		~300万円未満	(228)	30.3	21.5	17.5	13.6	11.0	1.8	19.7
		~500万円未満	(294)	29.3	25.2	17.0	18.7	19.7	3.1	13.9
		~1000万円未満	(253)	20.2	33.6	22.1	16.6	15.4	1.2	13.8
		1000万円以上	(90)	21.1	22.2	26.7	23.3	21.1	1.1	16.7
	70代	100万円未満	(27)	29.6	25.9	11.1	14.8	3.7	0.0	22.2
		~300万円未満	(296)	37.5	21.3	11.8	13.2	13.2	4.1	15.5
		~500万円未満	(370)	22.2	27.8	17.0	17.8	20.0	2.7	14.3
		~1000万円未満	(201)	18.4	30.8	25.9	22.4	14.9	1.5	14.4
		1000万円以上	(35)	22.9	40.0	31.4	22.9	20.0	2.9	5.7

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（10）

トータルリターン通知制度の認知状況

(Q24)

(投資信託現在保有者ベース)

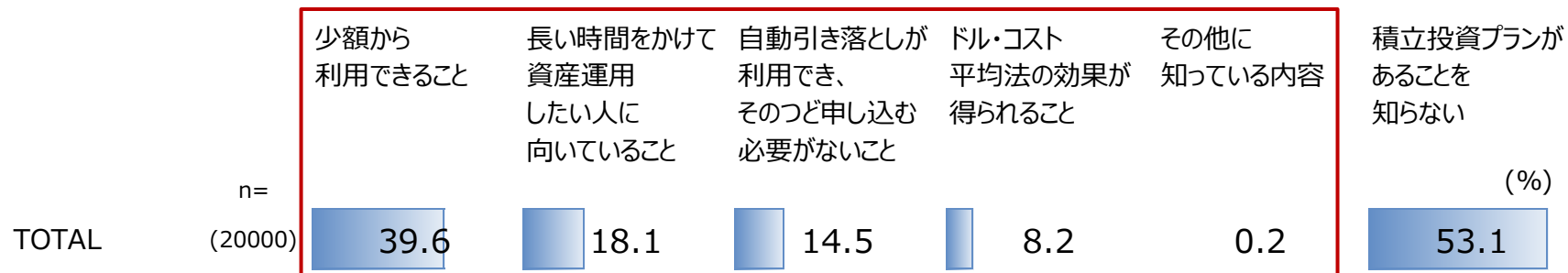


- 2014年12月から実施の「投資信託の投資期間全体の損益（トータルリターン）通知制度」の、現在投資信託保有層での認知率は29.7%で、前回(42.1%)、前々回(42.2%)に比べて大幅な減少。
- 年代別では70代の認知率が35.2%と最も高い。次いで20代(32.9%)、60代(31.2%)が高い。

4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（1）

積立投資プランの認知状況

(Q18)



年代別	人数 (n)	少額から利用できること (%)	長い時間をかけて資産運用したい人に向いていること (%)	自動引き落としが利用でき、そのつど申し込む必要がないこと (%)	ドル・コスト平均法の効果が得られること (%)	その他の知っている内容 (%)	積立投資プランがあることを知らない (%)
20代	(2712)	34.1	12.3	11.1	7.7	0.0	61.1
30代	(3295)	37.8	16.4	13.5	9.2	0.1	56.4
40代	(4036)	38.4	15.2	13.8	8.5	0.1	55.9
50代	(3239)	40.6	17.3	14.9	8.9	0.3	52.3
60代	(3818)	42.3	21.9	16.4	7.8	0.2	47.9
70代	(2900)	43.6	25.3	17.0	6.9	0.4	45.6

- 積立投資プランの特徴認知は46.9%と半数近くが存在を認知。
認知内容は「少額から利用できる」(39.6%)が突出しており、その他の認知はいずれも2割未満に留まる結果となる。

4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（2）

ドル・コスト平均法の認知状況

(Q19)

「ドル・コスト平均法」の内容認知率2018年：22.9%／2017年：20.7% (赤枠内のいずれかの特徴を知っている人)
 ※2017年は「長時間かけて資産形成をしたい人に向いている投資方法」(8.8%)を含む認知率

		n=	投資に伴う リスクを軽減する 方法の一つで あること	一定金額で 同一の商品を 買い付けていく 方法であること	リスクを 軽減するための 「時間の分散」が 図れること	結果として 平均買付金額を 引き下げる効果 が期待できること	財形貯蓄や 確定拠出年金で 活用できること	その他に 知っている内容	内容は知らない が、名前は 聞いたことがある	ドル・コスト平均 法があることを 知らない	(%)
2018 TOTAL		(20000)	14.3	10.4	8.7	8.6	6.4	0.2	7.5	69.6	
2017 TOTAL		(20000)	12.5	9.2	—	8.0	5.9	0.1	8.0	71.3	
年代別	20代	(2712)	13.2	7.7	7.0	6.7	5.6	0.0	6.7	74.3	
	30代	(3295)	14.7	10.1	9.0	8.6	6.6	0.1	6.3	71.9	
	40代	(4036)	13.6	9.8	8.5	8.1	6.6	0.1	6.6	72.2	
	50代	(3239)	14.6	10.2	8.8	8.5	7.2	0.1	7.6	69.3	
	60代	(3818)	13.9	11.5	9.4	9.4	5.9	0.3	8.5	66.7	
	70代	(2900)	15.7	12.7	9.2	9.9	6.5	0.3	9.6	63.1	
	世帯年収別	100万円未満	(879)	10.7	7.7	6.3	5.9	4.1	0.1	6.1	76.9
～300万円未満		(3169)	11.2	8.5	6.2	6.9	5.3	0.1	7.8	71.5	
～500万円未満		(4248)	15.3	11.1	8.9	8.5	6.5	0.1	8.5	67.1	
～1000万円未満		(4421)	20.4	15.3	13.7	13.3	9.5	0.1	8.2	60.4	
1000万円以上		(1073)	29.5	22.3	19.0	19.6	13.4	0.2	7.6	50.1	

- ドル・コスト平均法は存在自体の認知度が低く、「あることを知らない」人が69.6%にのぼる。
内容認知度は22.9%に留まり、その内容では、「投資のリスク軽減法の一つ」が14.3%で最も認知度が高い。
- 年代および世帯年収が上がるにつれ、ドル・コスト平均法の認知度は増加。

4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（3）

ドル・コスト平均法の認知状況

(Q19)

【2017年度の属性別】

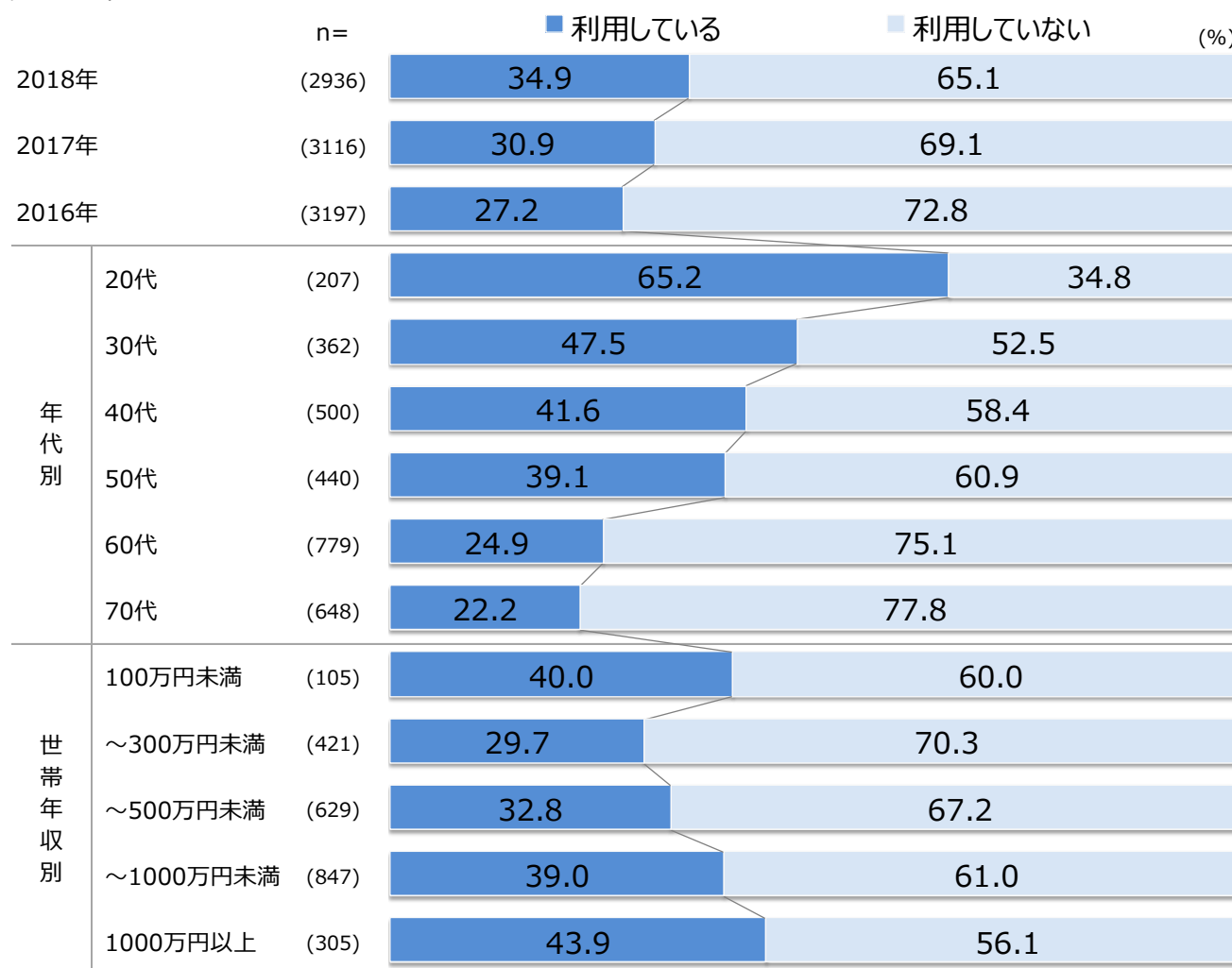
		n=	投資に伴う リスクを軽減する 方法の一つで あること	一定金額で 同一の商品を 買い付けていく 方法であること	リスクを 軽減するための 「時間の分散」が 図れること	結果として 平均買付金額を 引き下げる効果 が期待できること	財形貯蓄や 確定拠出年金で 活用できること	その他に 知っている内容	内容は知らない が、名前は 聞いたことがある	ドル・コスト平均 法があることを 知らない (%)
2017	TOTAL	(20000)	12.5	9.2	—	8.0	5.9	0.1	8.0	71.3
年 代 別	20代	(2747)	10.2	6.7	—	5.4	4.3	0.0	6.7	77.4
	30代	(3439)	12.2	8.3	—	6.7	5.7	0.1	7.0	74.4
	40代	(3898)	12.5	9.1	—	7.6	6.5	0.1	7.2	72.9
	50代	(3230)	12.1	9.8	—	8.7	6.7	0.1	7.8	71.7
	60代	(3764)	13.5	10.5	—	8.8	5.8	0.2	9.0	67.9
	70代	(2922)	14.4	10.3	—	10.6	6.1	0.2	10.1	63.5
世 帯 年 収 別	100万円未満	(894)	8.6	4.5	—	4.6	3.2	0.0	5.8	78.9
	～300万円未満	(3261)	9.0	7.2	—	5.6	4.8	0.1	7.3	74.3
	～500万円未満	(4239)	14.1	9.9	—	8.9	5.6	0.1	8.4	68.6
	～1000万円未満	(4422)	18.2	13.6	—	11.8	8.8	0.1	8.9	62.7
	1000万円以上	(1091)	23.7	21.1	—	16.9	12.6	0.1	11.0	52.9

4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（4）

投資信託の積立投資の利用状況

(Q17)

(投資信託現在保有者ベース)



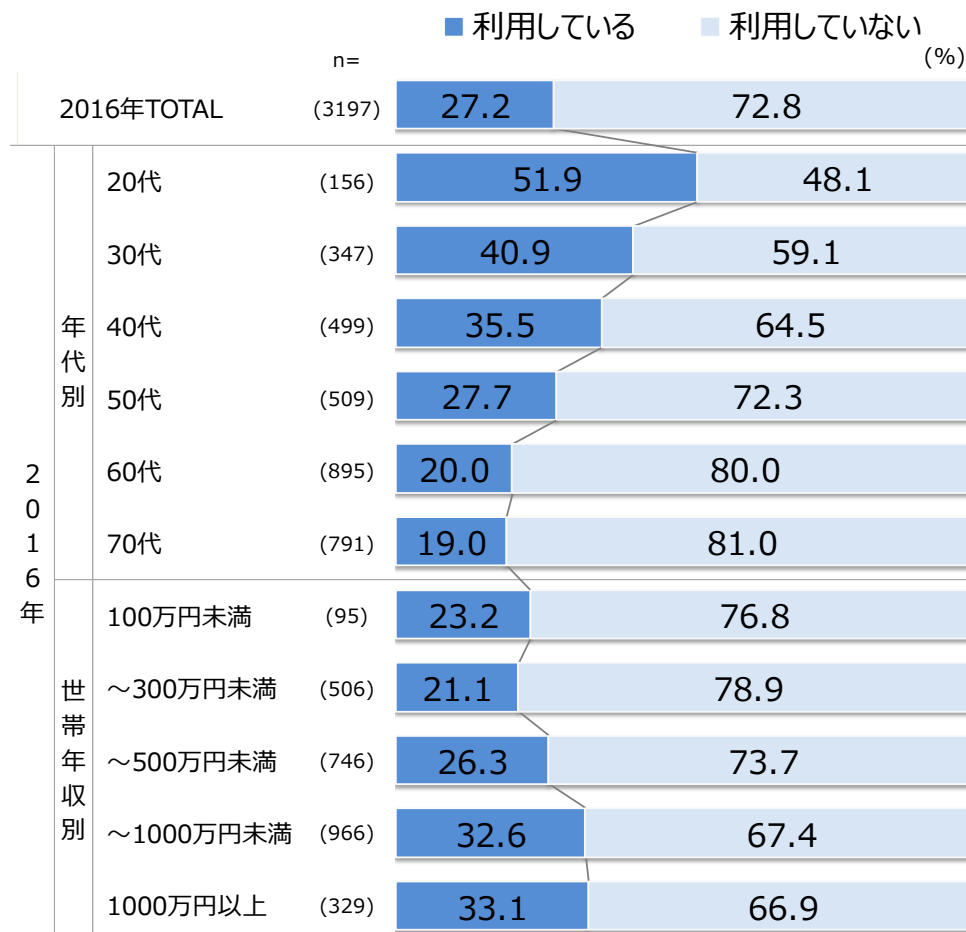
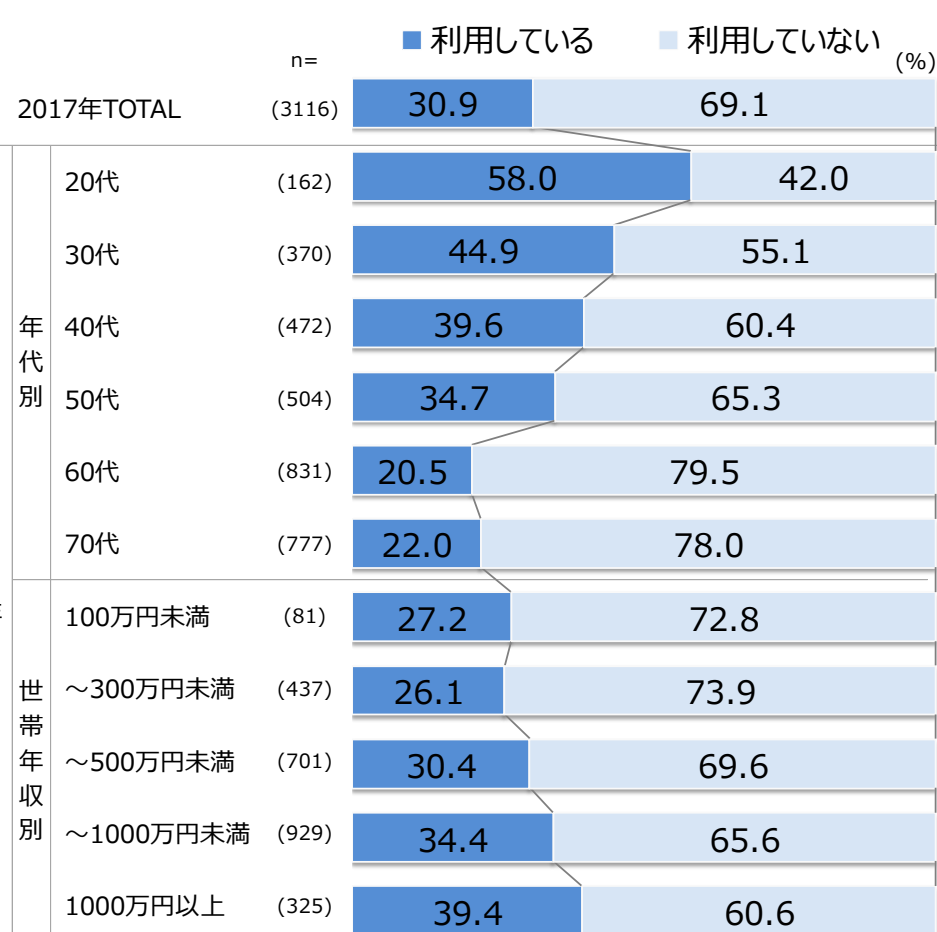
- 現在投資信託保有層の積立投資利用率は34.9%。前回(30.9%)に比べ4.0ポイント増加。
- 年代別では年代が若いほど利用率は高く、20代では65.2%と、3人に2人程度が利用しており、2016年から13.3ポイント増加している。
- 世帯年収別では、年収が高い層ほど利用率は増加する傾向。ただし、100万円未満層においても利用率が40.0%と高い。

4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（5）

投資信託の積立投資の利用状況

(Q17)

【2017年、2016年の属性別】

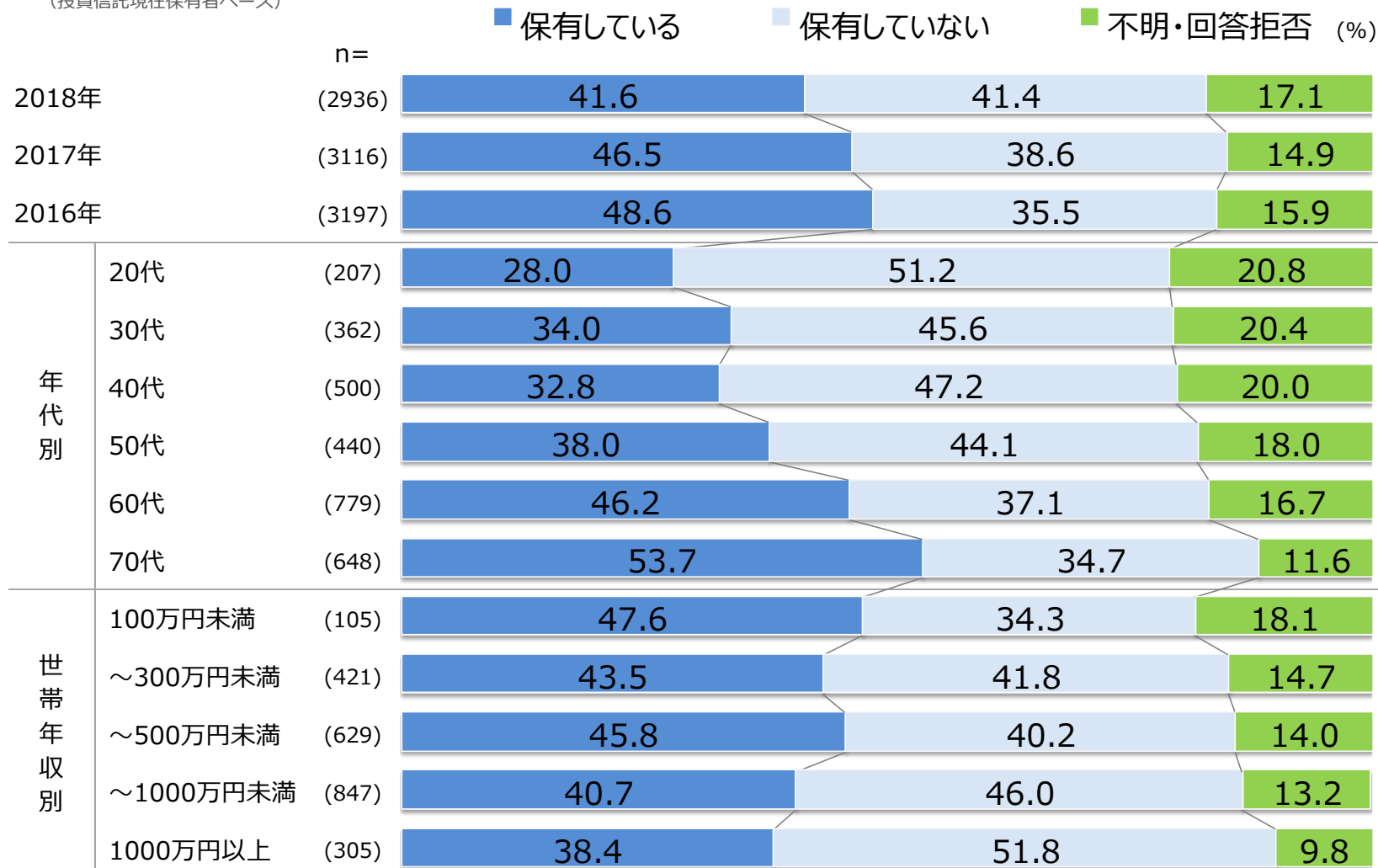


5. 毎月分配型投資信託についての意識（1）

毎月分配型投資信託の保有状況

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)



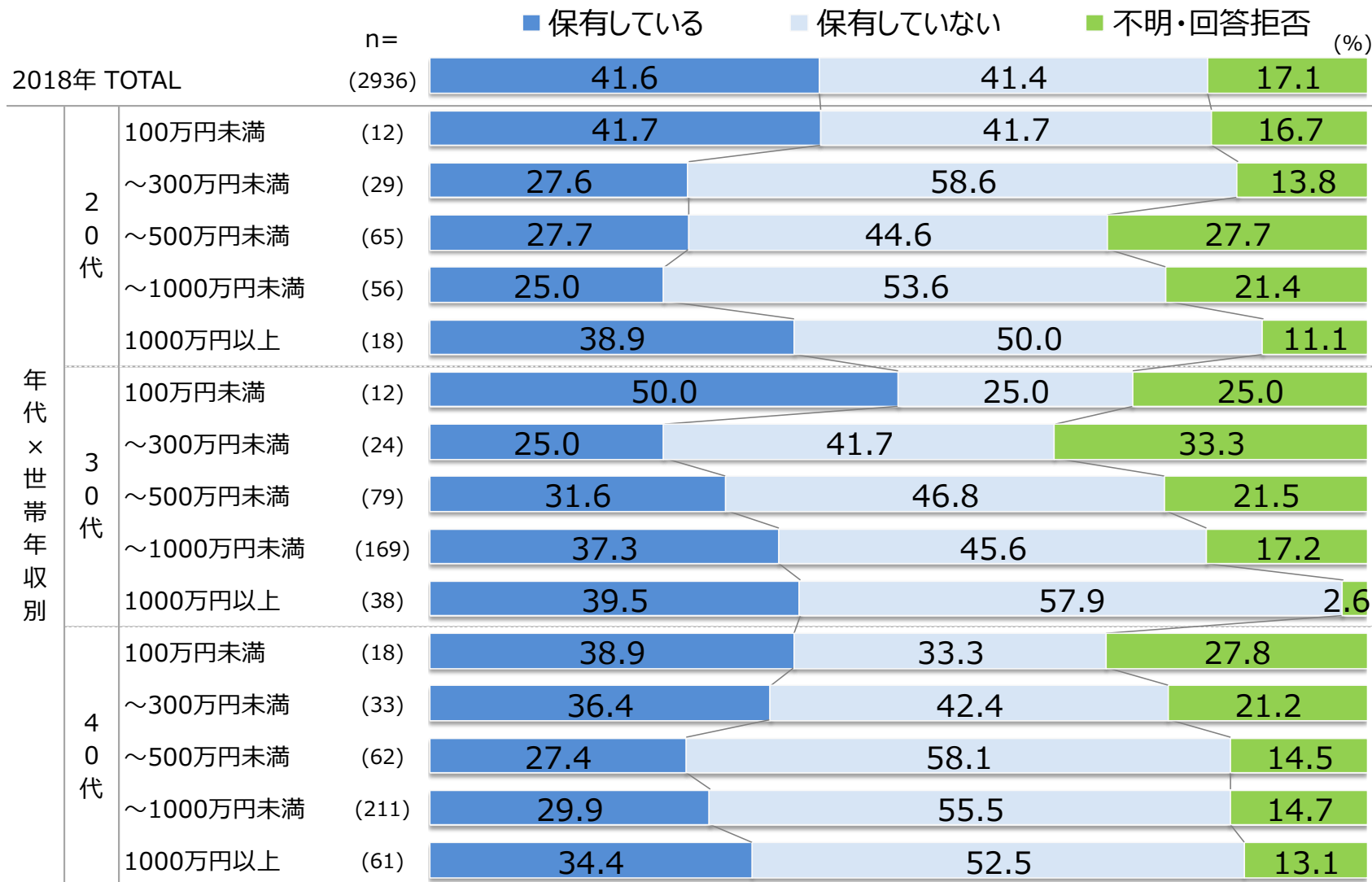
- 投資信託現在保有者における毎月分配型投資信託の保有率は41.6%。前回(46.5%)より4.9ポイント減少。
- 年代別では年代が上がるにつれ保有率が増加する傾向で、70代の保有率(53.7%)が半数を超え高い。一方で世帯年収別では、年収の増加と共に保有率が減少する傾向。

5. 毎月分配型投資信託についての意識（2）

毎月分配型投資信託の保有状況

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)

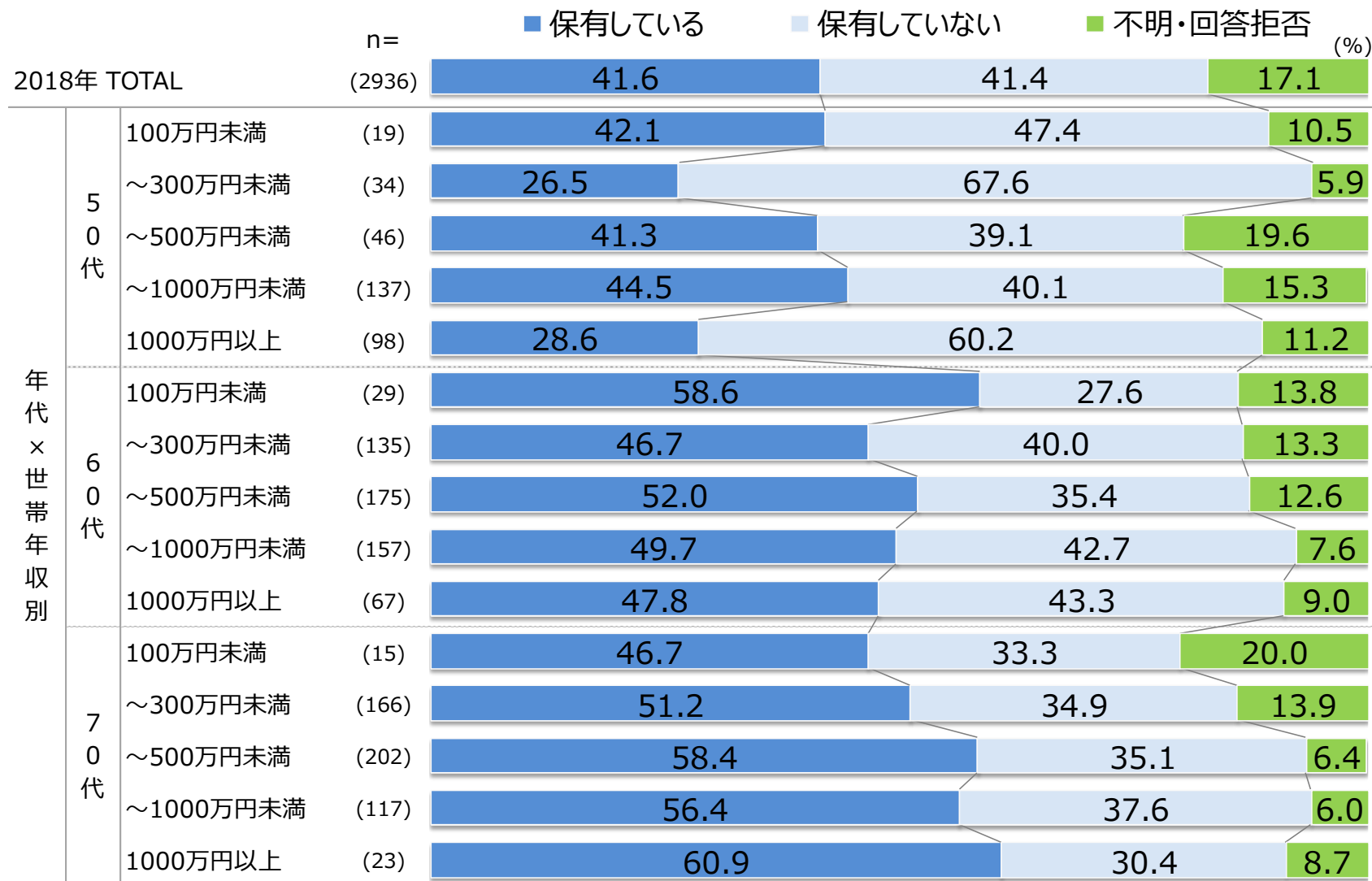


5. 毎月分配型投資信託についての意識（3）

毎月分配型投資信託の保有状況

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)

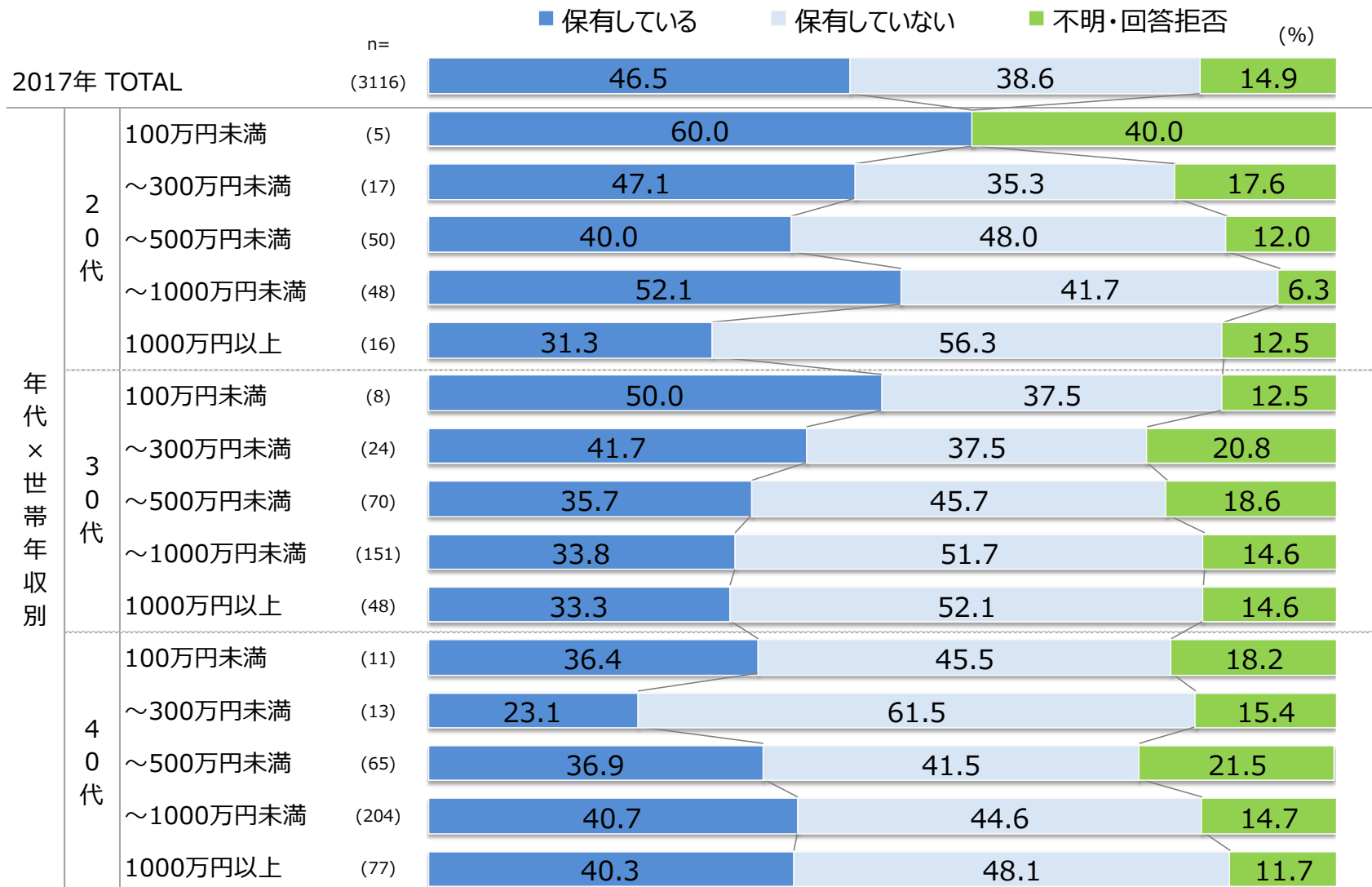


5. 毎月分配型投資信託についての意識（4）

毎月分配型投資信託の保有状況（参考：2017年）

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)

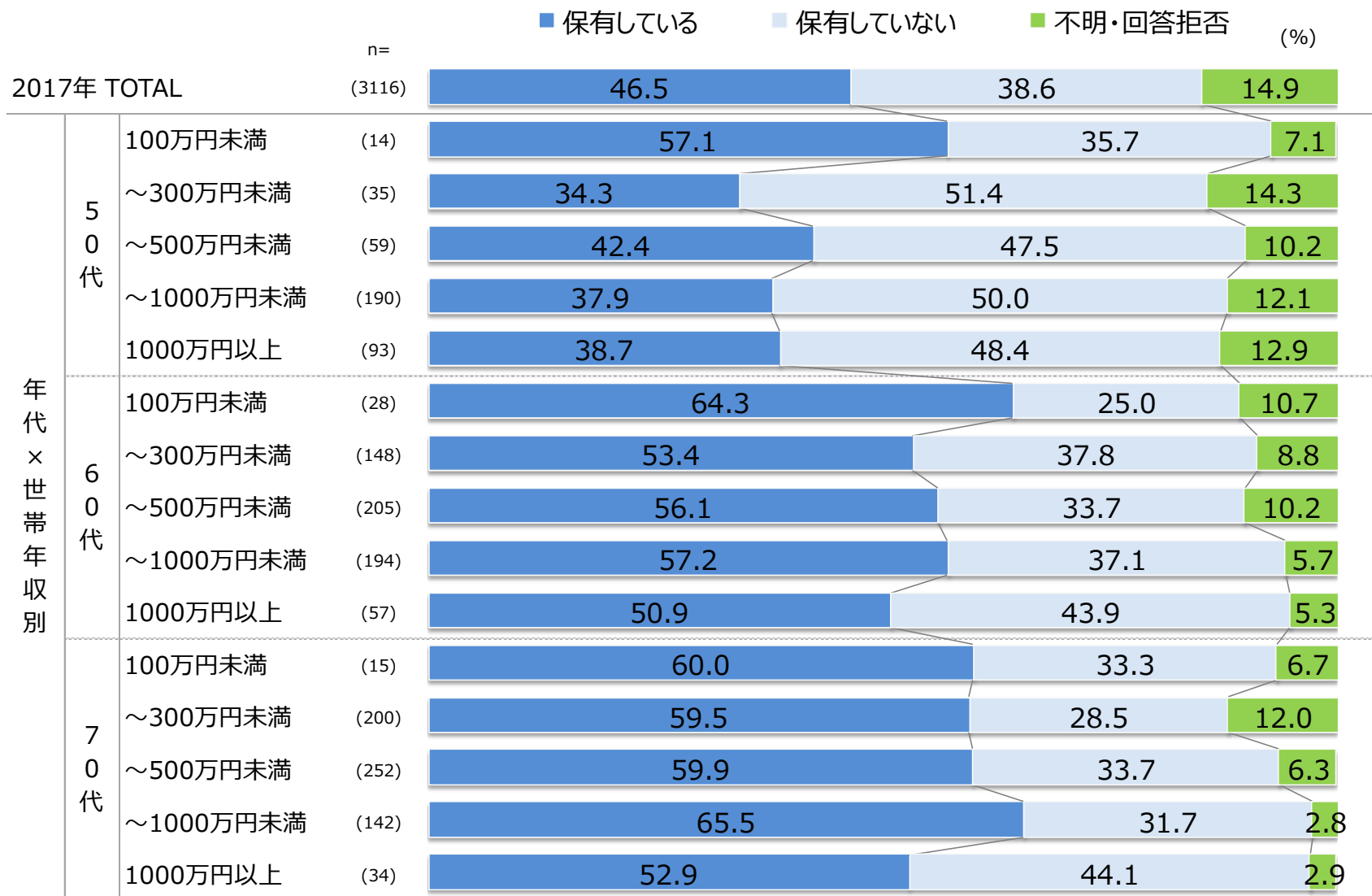


5. 毎月分配型投資信託についての意識（5）

毎月分配型投資信託の保有状況（参考：2017年）

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)

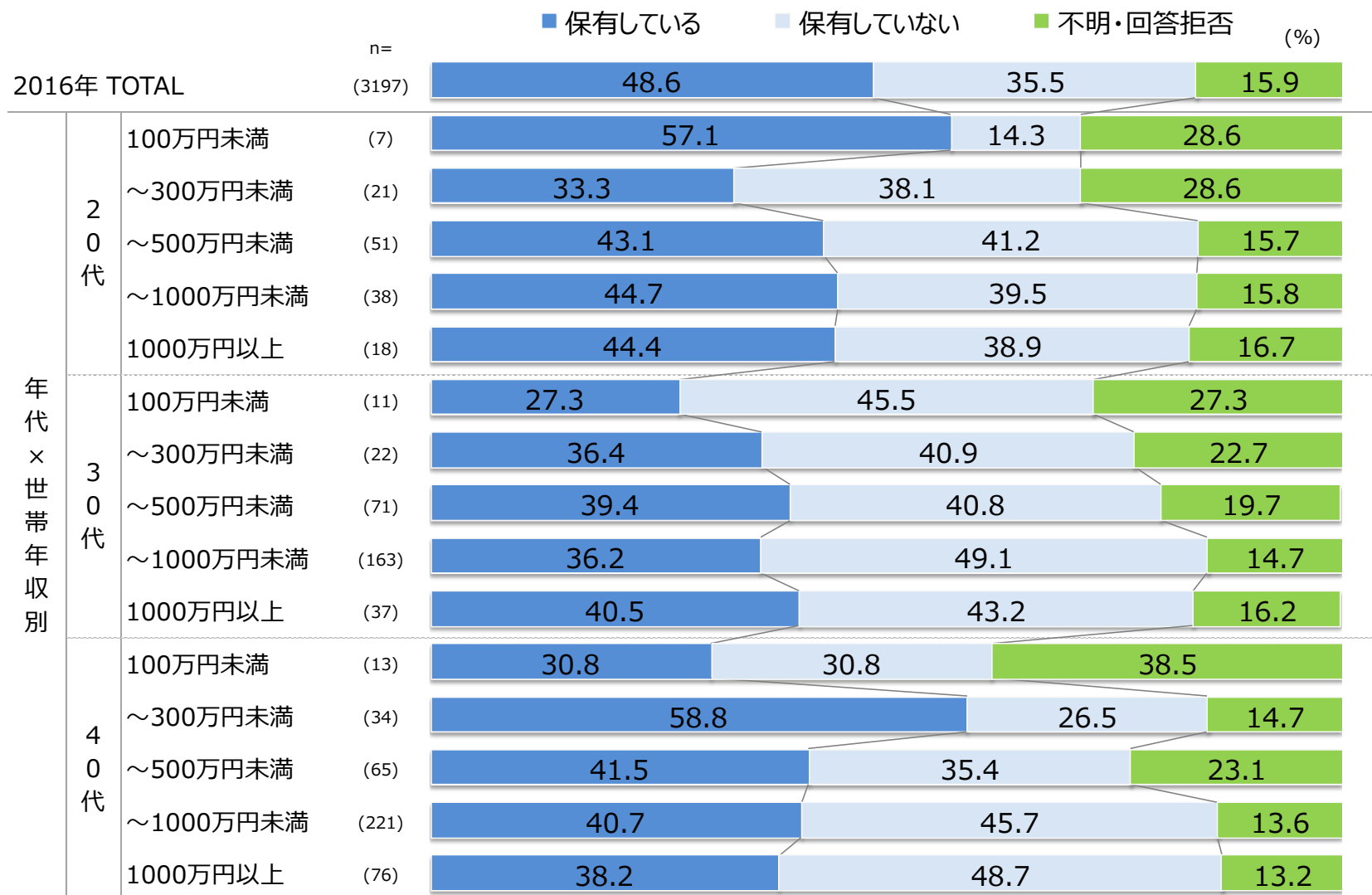


5. 毎月分配型投資信託についての意識（6）

毎月分配型投資信託の保有状況（参考：2016年）

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)

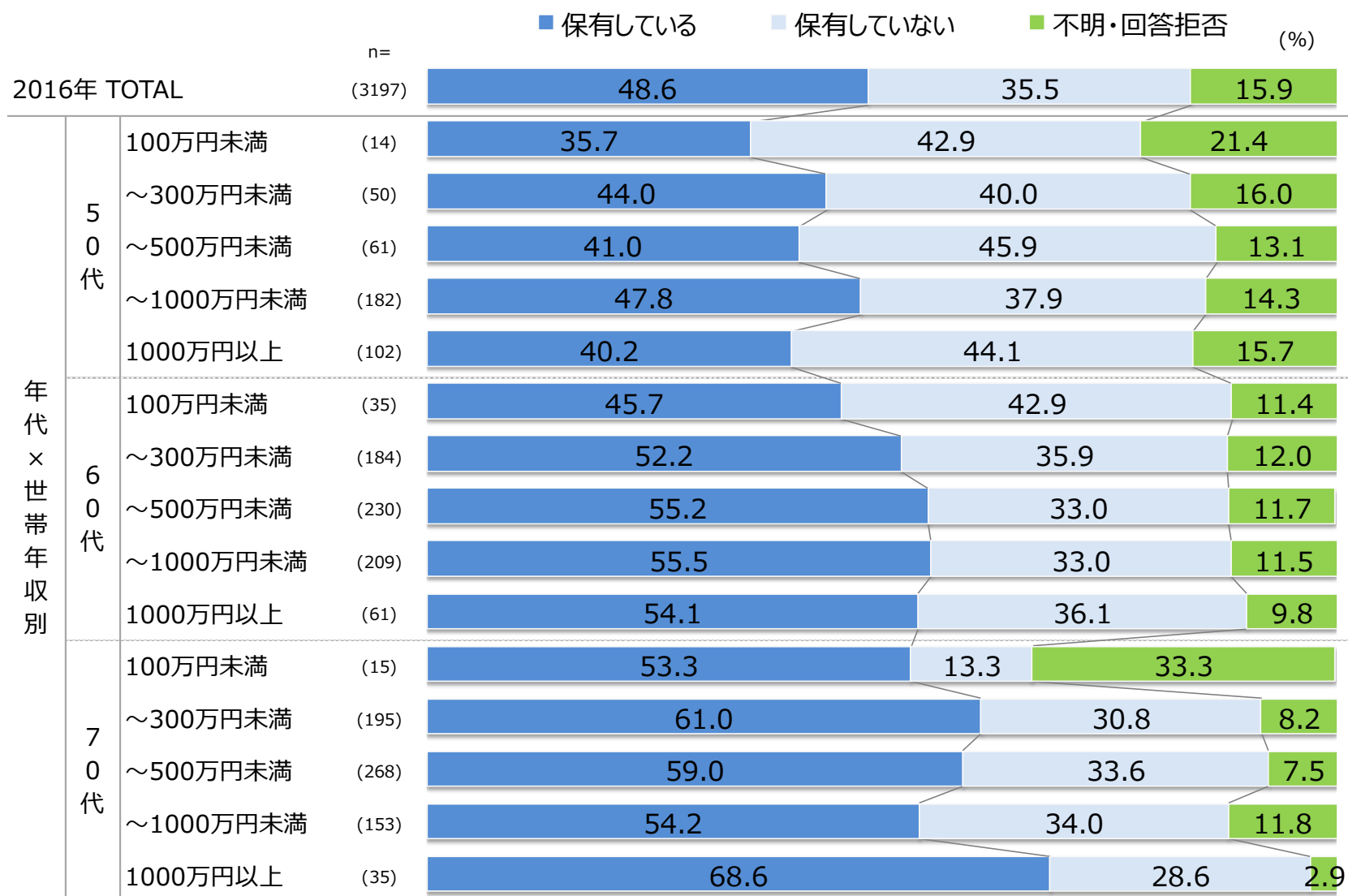


5. 毎月分配型投資信託についての意識（7）

毎月分配型投資信託の保有状況（参考：2016年）

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)



5. 毎月分配型投資信託についての意識（8）

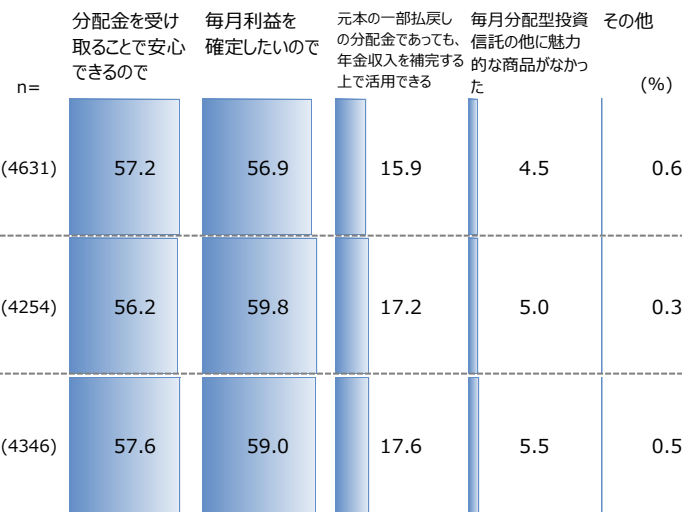
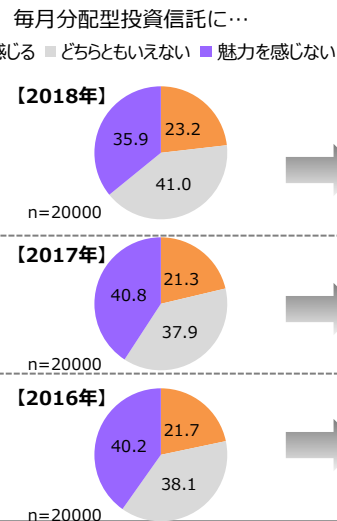
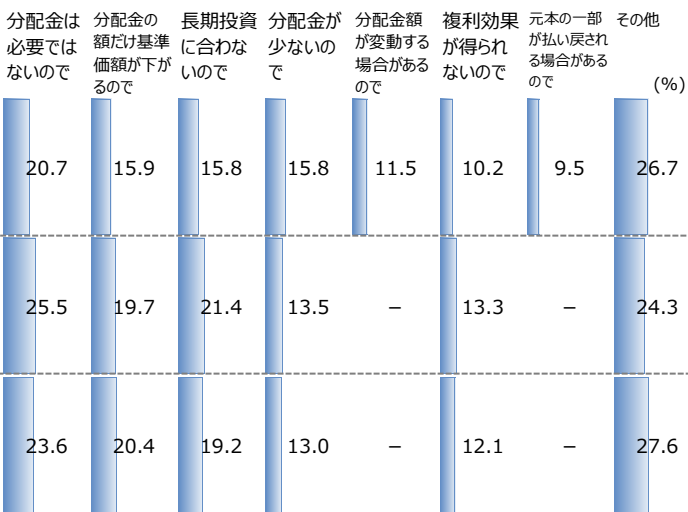
毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答）

（Q21・Q22・Q23）※選択肢「分配金額が変動する場合があるので」「元本の一部が払い戻される場合があるのでは」は2018年より聴取

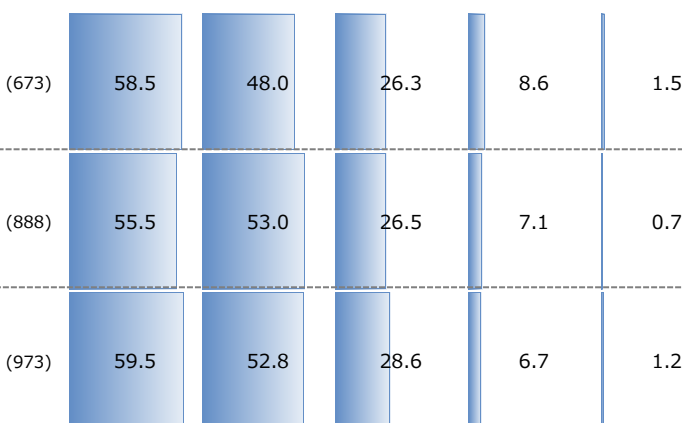
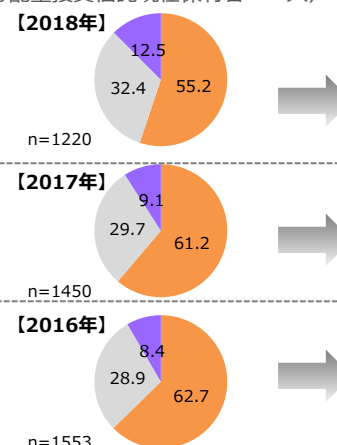
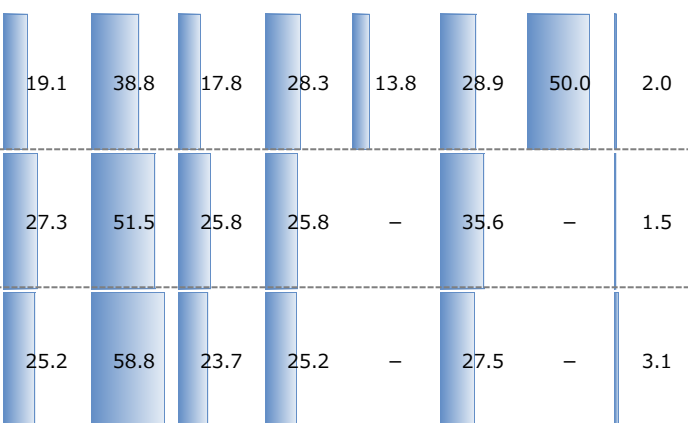
【魅力を感じない理由】

（全体ベース）

【魅力を感じる理由】



（毎月分配型投資信託現在保有者ベース）



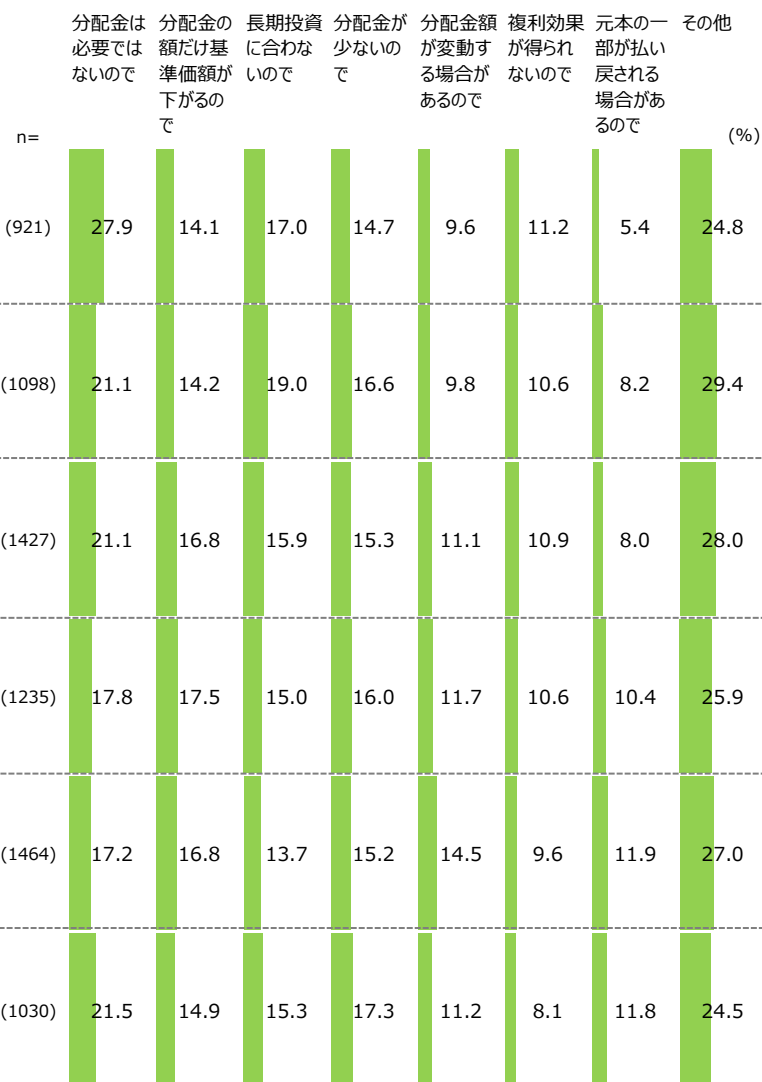
- <全体>
- 毎月分配型投資信託に魅力を感じる人は23.2%に留まり、魅力を感じない人の方が35.9%と多い。前回より魅力を感じない人は減少したが、魅力を感じる人は同水準。
 - 非魅力理由は、前回同様に、目立って高い項目はなく分散傾向。「分配金は必要ない」(20.7%)、「分配金の額だけ基準価額が下がる」(15.9%)、「長期投資に合わない」「分配金が少ない」(各15.8%)、が上位に上がる。魅力理由は、「分配金を受け取ることで安心」(57.2%)、「毎月利益を確定したい」(56.9%)が前回同様高い。
- <分配型投資信託現在保有者>
- 魅力を感じる人は55.2%と前回より6.0ポイント減少。非魅力理由では「元本の一部が払い戻される場合があるのでは」が50.0%と突出。

5. 毎月分配型投資信託についての意識（9）

毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答） 2018年

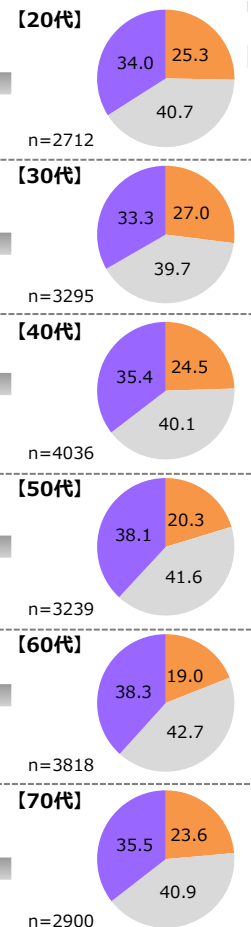
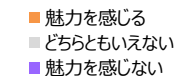
（Q21・Q22・Q23）※選択肢「分配金額が変動する場合がありますので」「元本の一部が払い戻される場合がありますので」は2018年より聴取

【魅力を感じない理由】

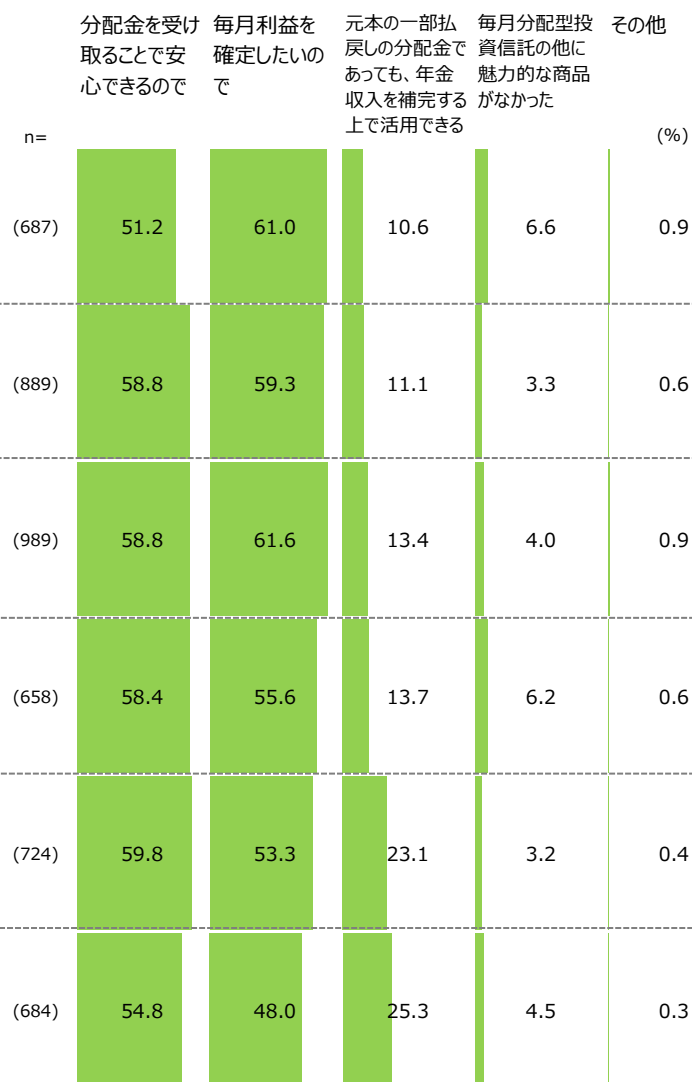


（全体ベース）

毎月分配型投資信託に…



【魅力を感じる理由】



- 非魅力理由は、20代で「分配金は必要ない」が高く、50～60代でやや低い。
- 魅力理由は、年代が上がるにつれ「元本の一部払戻し分配金であっても、年金収入の補完にできる」が増加し、70代では4人に1人が魅力に感じている。

5. 毎月分配型投資信託についての意識（10）

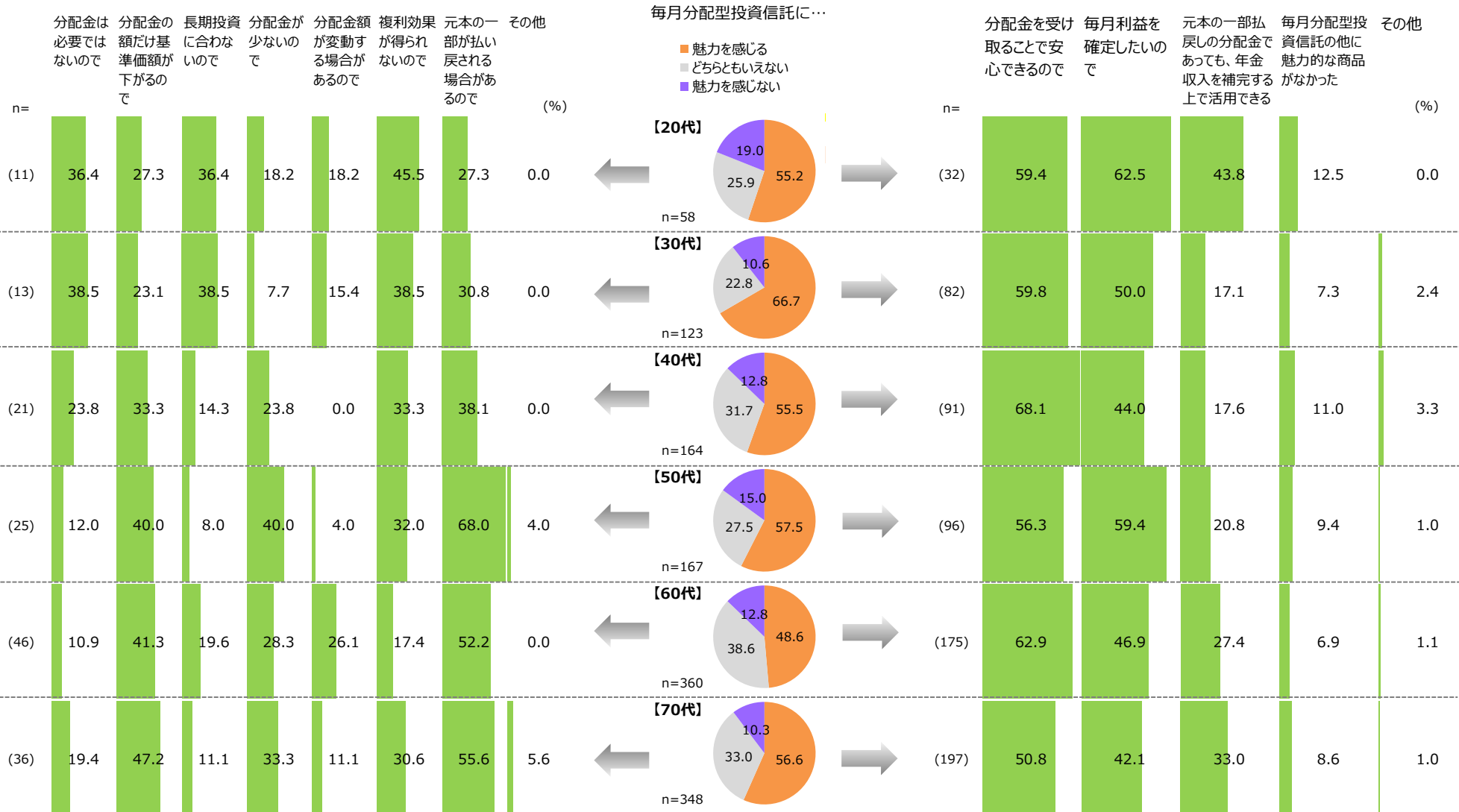
毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答） 2018年

（Q21・Q22・Q23）※選択肢「分配金額が変動する場合がありますので」「元本の一部が払い戻される場合がありますので」は2018年より聴取

【魅力を感じない理由】

（毎月分配型投資信託現在保有者ベース）

【魅力を感じる理由】



- 毎月分配型投資信託保有者では、どの年代でも50～60%程度が当該商品に対して魅力を感じている。
- 魅力理由では、40代と60代で「分配金を受け取ることで安心できる」が顕著である。年代が上がるにつれ「元本の一部払い戻し分配金であっても、年金収入の補完にできる」が増加し、70代では3人に1人が魅力に感じている。

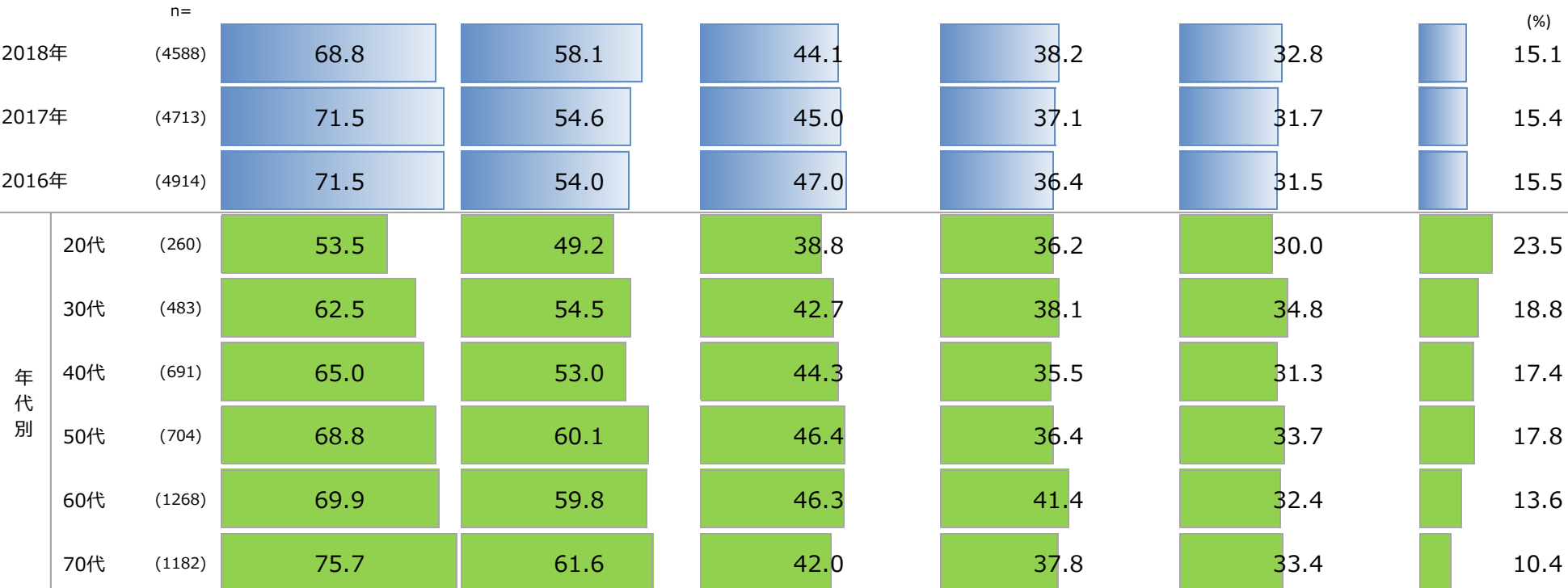
5. 毎月分配型投資信託についての意識（11）

投資信託の「分配金」の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q11)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

一般的に分配金額は、運用成績によって変動する
 運用成績が良くない時は分配金額が下がったり、支払われない場合がある
 分配金は投資信託の決算ごとに支払われる
 分配金として元本の一部が払い戻されることもある
 分配金が支払われた額だけ、基準価額が下がる
 この中で知っているものはない



- 投資信託の分配金の特徴認知は前回とほとんど差がみられない。「運用成績によって変動する」が68.8%と大半の人に認知されている。次いで「運用成績が良くない時は支払われない場合がある」(58.1%)、「投資信託の決算ごとに支払われる」(44.1%)の順に高い。
- 年代別でみると、「運用成績で変動」は年代が上がるにつれ認知率も高くなる。

6.投資信託の非購入理由

投資信託の非購入理由（重複回答）

(Q26) ※選択肢「投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい」は2018年より聴取

(投資信託保有未経験者ベース)

	n=	そ も そ が も な い	興 味 の 知 識 が な い	損 を し そ う で 怖 い	ま と ま つ た 資 金 が な い	資 金 組 み の よ く	仕 組 み が 分 か ら な い	元 本 保 証 が な い	な ん と な く 機 会 が な か つ た	手 数 料 が 高 い	商 品 の 種 類 が は い	多 く 自 分 で な い	選 択 し な い	自 信 に 合 っ た 投 資	時 間 的 な 余 裕 が な い	知 ら な い の 存 在	購 入 す る か ら な い	手 間 の か か る	投 資 信 託 を 買 う よ り も	自 分 で 株 な ど を 運 用 し た 方 が い い	そ の 他	(%)
2018年	(15412)	48.4	38.0	29.9	24.3	22.8	20.2	11.8	10.2	8.1	7.7	5.3	5.1	2.6	0.9							
2017年	(15287)	46.4	38.3	22.5	19.5	24.4	19.4	8.0	10.6	5.7	5.5	5.0	3.5	—	1.2							
2016年	(15086)	48.0	36.5	21.6	19.1	23.4	19.8	8.3	9.7	5.8	5.5	4.2	4.0	—	1.5							
年代別	20代 (2452)	49.9	41.8	26.8	24.7	24.2	9.1	15.4	8.2	6.0	7.2	9.3	5.8	2.1	0.9							
	30代 (2812)	44.2	44.9	33.6	24.3	27.2	15.3	14.5	8.9	8.4	10.1	6.9	6.4	2.3	0.8							
	40代 (3345)	46.1	38.6	32.1	25.5	23.9	20.2	12.1	11.4	8.1	9.1	5.2	5.7	2.1	1.0							
	50代 (2535)	50.0	35.3	31.2	26.2	21.9	25.2	11.0	11.3	9.0	7.9	3.9	5.7	2.2	0.7							
	60代 (2550)	50.3	33.4	28.1	22.5	19.7	25.8	8.5	10.5	7.9	5.5	3.3	3.2	3.0	1.1							
	70代 (1718)	52.3	31.4	24.5	21.7	17.2	28.0	7.4	10.5	9.1	4.7	2.4	2.6	4.4	1.2							

- 投資信託の非購入理由は、「興味がない」(48.4%)が最も高い。前回に比べ、「損をしそうで怖い」「まとまった資金がない」は増加。
- 年代別では、高齢層ほど「元本保証がない」が高くなり、若年層ほど「なんとなく機会がなかった」が高くなる傾向。また他の年代に比べ30代で「興味がない」が低く、「投資の知識がない」「投資信託の仕組みが分からない」がやや高くなる。

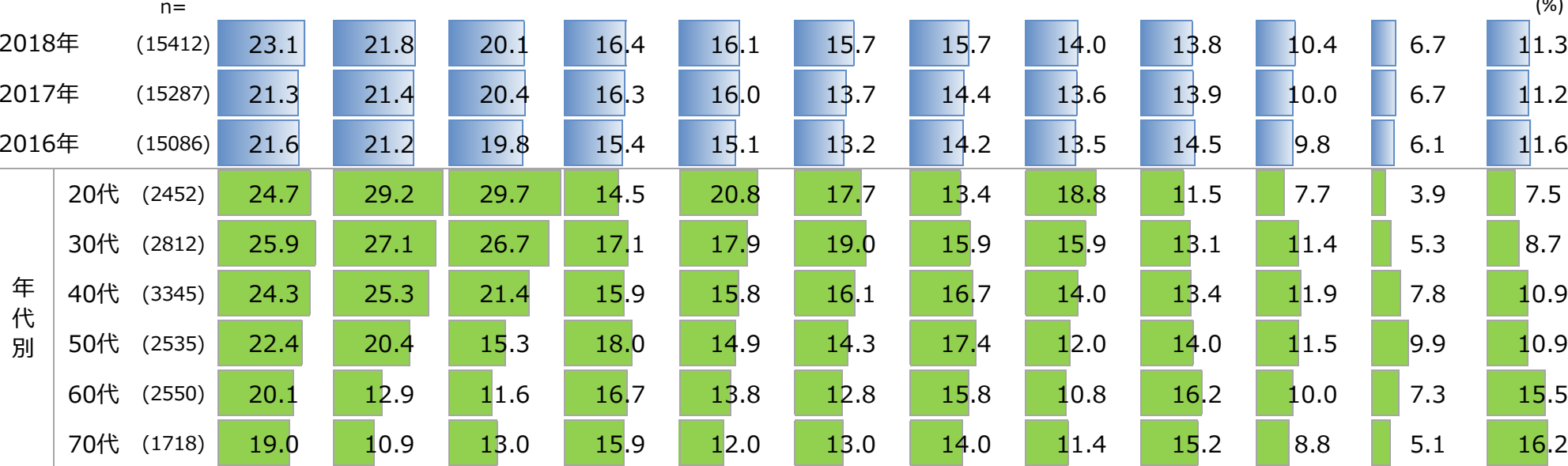
7.投資信託購入検討のきっかけ

購入検討のきっかけ（重複回答）

(Q27)

(投資信託保有未経験者ベース)

金融強解 やしで 投資を
 勉強して きたら
 理解でき たら
 手取り入 収が
 増えたら
 身近な人 に
 勧められ たら
 貯蓄が一 定額に
 達したら
 金融専門 知識を持 たら
 教える機 会があら ば
 初心者説 明会があ りたら
 低投資の 商品が
 充実した 商品が
 初めから ありたら
 なる機会 があたら ば
 経過が上 向きな
 期待がた ちます
 手数料の 低さが
 投資した 商品が
 充実した 商品が
 退職金・ 収入があ たら
 臨時収入 があたら ば
 その他



- 投資信託購入検討のきっかけは、前回同様に目立って高い項目はみられず分散傾向。
- 年代別では、若年層ほど「金融や投資方法を勉強して理解したら」「手取り収入が増えたら」「身近な人に勧められたら」「貯蓄が一定額に達したら」「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」「初心者セミナーなどがあれば」が高くなる傾向。

8. 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ



投資信託の興味・関心・購入のきっかけ（重複回答）

(Q8)

(投資信託保有経験者ベース)

		n=	金融機関の人に勧められて	経済的に余裕ができたので	インターネットで見たり調べたりして	家族や友人などから話を聞いて	少額投資非課税制度が始まったので	景況や市場の状況	商品広告などを見て	本を読んだり	新聞記事、雑誌など	記事を見て	確定拠出年金で	D M 案内を聞いて	講演会やセミナー	確定拠出年金で	良かったので	その他
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2018年		(4588)	52.5	13.7	12.5	11.6	9.9	8.2	7.3	7.2	6.2	6.1	5.6	4.7	1.8	3.4		
性別	男性	(2526)	44.5	14.3	17.3	8.4	11.0	10.2	9.2	9.7	8.0	9.1	6.9	5.8	2.5	3.3		
	女性	(2062)	62.3	12.9	6.7	15.5	8.7	5.7	5.0	4.1	4.0	2.4	4.0	3.4	0.9	3.5		
年代別	20代	(260)	30.8	12.3	28.5	14.6	17.7	8.8	10.4	21.2	9.2	13.1	10.0	9.6	5.4	3.1		
	30代	(483)	30.0	13.7	25.3	13.3	14.9	8.1	8.3	14.7	7.7	11.2	6.8	5.4	2.7	4.8		
	40代	(691)	39.1	10.3	18.8	12.0	10.1	7.7	6.4	8.4	6.5	11.3	6.2	3.3	2.9	3.5		
	50代	(704)	48.4	13.6	10.7	12.1	8.1	8.2	7.5	7.1	6.7	7.2	4.1	3.4	1.1	4.5		
	60代	(1268)	60.6	15.9	8.0	10.1	8.6	7.9	8.8	3.6	5.3	3.5	4.8	4.2	1.1	3.2		
	70代	(1182)	68.2	13.6	6.2	11.3	8.6	8.5	5.2	4.1	5.6	1.4	5.6	5.6	1.1	2.4		
世帯年収別	100万円未満	(156)	54.5	12.2	9.6	12.8	5.8	7.7	5.8	8.3	3.8	0.6	2.6	2.6	2.6	3.2		
	～300万円未満	(697)	64.0	11.9	7.9	9.8	9.9	6.3	7.6	5.6	4.6	2.7	4.3	5.3	0.7	2.6		
	～500万円未満	(1038)	56.6	13.2	11.3	11.7	10.8	8.2	7.7	6.4	6.0	5.5	6.2	4.2	1.3	3.5		
	～1000万円未満	(1234)	45.9	14.2	16.9	12.2	11.7	9.0	7.9	9.5	8.0	9.5	6.8	5.3	2.8	3.3		
	1000万円以上	(406)	41.9	15.8	19.7	8.4	7.6	11.3	10.3	8.4	8.6	9.1	7.4	5.4	2.7	4.7		
保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層 (2936)	52.4	12.5	13.9	10.6	12.6	7.3	6.6	8.3	6.0	7.7	5.7	5.2	2.0	3.1		
	保有経験層 (現在非保有)	(1652)	52.8	15.7	10.2	13.3	5.1	9.7	8.7	5.2	6.6	3.1	5.6	3.9	1.4	3.9		
現在保有別	株式投資信託保有層	(1702)	49.3	12.9	17.6	10.5	13.9	8.0	8.3	10.6	7.8	9.0	7.2	6.9	2.7	3.1		
	その他投資信託保有層	(773)	59.4	11.8	10.1	10.1	11.1	6.2	5.6	6.5	5.0	6.0	4.0	3.8	0.9	2.2		

- 投資信託の興味・関心・購入のきっかけは、「金融機関の人に勧められて」(52.5%)が突出している。次いで「経済的に余裕ができたので」(13.7%)、「インターネットで見たり調べたりして」(12.5%)、「家族や友人などから話を聞いて」(11.6%)があがる他は、いずれも10%に満たない反応。
- 「少額投資非課税制度が始まったので」「確定拠出年金で投資信託を選択して興味を持った、良かったので」は、年代が若くなるにつれ高くなる傾向。
- 投資信託現在保有層は、保有経験層に比べ「少額投資非課税制度が始まったので」が高い。

9. 投資信託購入時参考情報



投資信託購入時参考情報（重複回答）

(Q9)

(投資信託保有経験者ベース)

		n=	金融機関の担当者の話	販売用資料	目論見書・運用報告書	投資信託を販売している会社のHP	投資信託を販売している会社のHP	新聞	親友家族の知人、	情報サイトにアクセスする	その他のインターネットの情報	評価機関の投資信託	投資に関する本や	雑誌	セミナーなど	テレビ番組	その他	特にな
			(%)															(%)
2018年		(4588)	35.6	30.0	21.6	21.3	11.3	11.2	10.5	9.6	8.7	8.6	8.1	5.4	4.4	3.9	0.7	13.8
性別	男性	(2526)	27.5	30.1	25.4	24.8	13.8	13.5	7.8	13.0	10.3	11.4	9.9	6.8	4.9	3.7	0.5	13.9
	女性	(2062)	45.5	29.9	17.0	17.1	8.3	8.5	13.9	5.5	6.6	5.3	6.0	3.6	3.8	4.1	1.0	13.8
年代別	20代	(260)	20.4	28.8	25.8	28.8	19.2	14.2	15.0	17.7	15.8	14.6	16.5	8.1	5.0	4.2	0.0	11.5
	30代	(483)	20.5	35.6	26.3	28.4	15.5	8.5	14.3	17.0	13.9	12.0	13.3	7.0	5.0	4.3	0.2	11.6
	40代	(691)	24.2	29.1	21.6	23.6	13.9	11.7	10.4	11.6	10.9	9.6	9.8	8.4	3.2	3.3	0.7	13.2
	50代	(704)	34.4	29.5	18.9	21.0	9.8	11.4	11.1	8.7	10.2	9.1	6.7	5.8	4.4	3.3	0.3	16.1
	60代	(1268)	43.1	30.4	20.6	18.9	9.5	10.3	8.1	7.4	6.4	7.6	6.5	4.3	4.5	3.5	0.7	14.0
	70代	(1182)	44.4	28.3	21.7	18.3	9.3	12.3	10.2	6.7	5.2	6.2	5.8	3.2	4.6	4.7	1.4	14.1
世帯年収別	100万円未満	(156)	33.3	26.3	12.2	12.8	8.3	13.5	6.4	4.5	5.8	3.2	7.1	3.8	1.9	3.2	0.6	16.0
	～300万円未満	(697)	43.6	31.1	20.7	18.4	8.6	9.3	7.7	7.0	6.0	6.5	7.5	4.3	3.3	3.6	1.3	13.3
	～500万円未満	(1038)	35.2	29.8	21.0	22.7	11.1	9.9	11.1	9.5	7.1	8.9	7.4	4.7	4.2	4.3	0.4	13.6
	～1000万円未満	(1234)	33.0	32.7	25.2	25.4	13.5	13.1	11.4	12.9	12.6	10.2	9.2	7.1	4.9	3.9	0.5	10.6
	1000万円以上	(406)	27.3	29.1	24.6	26.8	15.8	12.6	12.6	12.8	9.6	14.8	9.6	7.9	5.2	3.7	1.0	9.9
保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層 (2936)	37.0	31.5	23.9	21.3	11.7	9.9	8.8	9.7	8.8	8.9	8.4	5.4	4.9	3.4	0.8	11.7
	保有経験層 (現在非保有)	(1652)	33.1	27.3	17.7	21.4	10.7	13.6	13.5	9.6	8.4	8.2	7.6	5.2	3.4	4.6	0.6	17.6
現在保有種類別	株式投資信託保有層	(1702)	31.8	32.6	27.6	25.7	14.2	11.9	8.8	12.9	11.2	11.6	10.0	6.6	5.8	4.2	1.1	8.5
	その他投資信託保有層	(773)	48.3	35.6	21.9	18.5	10.3	8.7	8.0	7.2	6.6	6.7	7.9	4.8	4.7	2.6	0.4	7.8

- 投資信託購入時参考情報は、「金融機関の担当者の話」(35.6%)が最も高い。次いで「販売用資料」(30.0%)、「目論見書・運用報告書」(21.6%)、「投資を販売している会社のHP」(21.3%)が上位に続く。
- 年代別では、どの参考情報も若年層ほど高くなる傾向だが、高齢者ほど「金融機関の担当者の話」が高くなる傾向。
- 投資信託現在保有種類別では、株式投資信託保有層で「金融機関の担当者の話」が低く、「目論見書・運用報告書」「投資を販売している会社のHP」「情報サイト」が高い。